

SPRING 6

大手前高校自治会

編集のこぼ

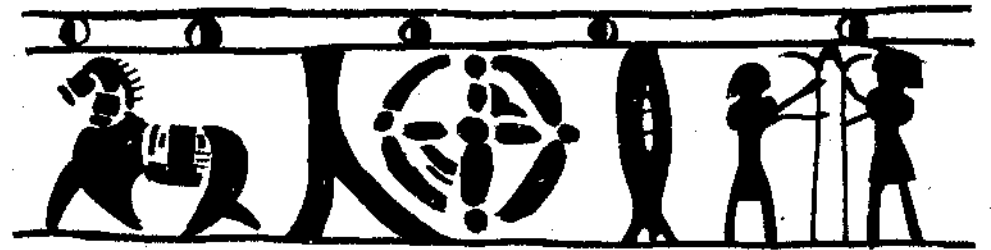
現在の大手前はそのあるべき姿を形造つているだろうか・・・・・・・・

1に1をプラスしても、2をプラスしても、それは単なる2であり3である。

何となればそこには何でもなし自然の法則だけが介在し得る余有しかないから。

でももしそこに、それ以上のものが介在し得るとすれば・・・1+1が5になつたり、7になつたり（こういう言い方はおかしいが）できるのである。不可とされていたものを現実の世界にひきだせるのである、その超越的なもの・・・いいかえれば、たとえば・・・現在の大手前を本来あるべき姿にもどすもの・・・・

そういうものが、いやそういうものへの糸口がこの中に秘められている。そういう意味でこの本、この宝庫をよんでもらいたいものだ。



もくじ

特集Ⅰ アンケート

男女交際について
読書について
音楽について
映画について
その他
自分自身について
信仰について
ベトナム戦争について

特集Ⅱ 座談会

特集Ⅲ 論説

全日制・定時制交流
つれづれなるまゝに
自治会の現状・その対策
旭高校タベリング会に出席して
昨年の文化祭アンケートより
文化祭反省

クラブ紹介

文化系クラブ
運動系クラブ

先生紹介

文芸作品

銅貨
小さな悲鳴に
ある日の日記帳より
ソネット二つ 「遠い昔から」
1 歴史の赤い結晶
2 道化が一人逃げてゆく

俳句

ノート「無名編」より

斜塔

無題

トンネル

貝になつて

俊左衛門の考えること

サインも無く見わけもつかぬ墨の肖像画

「飛び去つた未来」

闇にて

走る

編集後記

50樓 祥二	68	五十樓 祥二	68	吉田 春陽	67	岡 龍二	65	眉 汎 露雄	65	薄田 澄子	69	岡 龍二	69	暗谷 巡	71	暗谷 巡	72	安達 俊雄	73	佐々木 幹郎	76	眉 汎 露雄	81	卒業生より	83	岡 龍二	86	88
--------	----	--------	----	-------	----	------	----	--------	----	-------	----	------	----	------	----	------	----	-------	----	--------	----	--------	----	-------	----	------	----	----

蕭 聡 明	33	木 村 典 成	34	渡 辺 泰 幸	37	田 中 善 章	40	Yoshiaki Tanaka	42	45	46	46	55
-------	----	---------	----	---------	----	---------	----	-----------------	----	----	----	----	----

スプリングデー

の生前大手

全貌



特集 I

アンケート

我々、大手前生は「男女交際」について、また「ベトナム問題」について、また本業である「勉強」についてどのように考え、そしてどのような本を好んで読み、娯楽としてどのような事をしていくでしょうか。アンケート、論説文を資料とし、また他校での調査結果も参照しながら、それを見ていきたいと思えます。あなた自身の場合と比べながら読んでください。

男女交際について

(I) 異性への関心

○ 異性に対する意識大!!

1 異性を意識して圧迫感を感じるか

(イ) 非常に強く感じる 一〇・二%

(ロ) 感じる 一二・〇%

(ハ) やや感じる 五一・四%

(ニ) 感じない 二六・四%

2 異性との間にどうにもできないすまを感じるか

(イ) 感じる 二八・六%

(ロ) 感じない 二七・三%

(ハ) わからない 四四・一%

3 異性には思うことが言えないと感じたことがあるか

(イ) よく感じる 二七・四%

(ロ) たまに感じる 五四・六%

(ハ) 感じない 八・〇%

(ニ) (あの子の前になると胸がワクワク

○ 案外図々しい!!

4 異性と話しているとき他人が来ると気がねするか。

(イ) よくする 一九・六%

(ロ) たまにする 二九・二%

(ハ) しない 五一・二%

(ニ) 全然気がねしないという人が半数以上(だからマスマス、ヤケんだ)

○ Great many 内気型 and もじもじ型!!

5 異性の友にあつても、知らん顔してあいさつしないことがあるか。

(イ) よくある 五二・三%

(ロ) たまにある 四三・三%

(ハ) ない 四・四%

(ニ) あいさつや話をしない異性の同級生が多いか。

○ ああ、矛盾!!

8 異性に親切にしてあげたいか。

(イ) してあげたい 六六・八%

(ロ) してあげたくない 三・七%

(ハ) 無関心 二九・五%

(ニ) 異性が困っているのを見て知らぬ顔をするところがあるか。

(イ) いつもそうである 三八・七%

(ロ) たまにある 五二・九%

(イ) ない 八・四％
親切にしてあげたいという人が相当数いるにもかかわらず、知らぬ顔をする人が半数近い。
(このヤルセナイ気持ち、ワカッて下さい。)

○ 大手前生はよき理解者??

10 異性をからかうことがあるか。

(イ) よくある 一一・四％
(ロ) あまりある 三五・八％

11 男女の生徒が仲よくしているのを見てどう思うか。

(イ) 腹が立つ 六・九％
(ロ) いいと思う 五五・三％

12 男女が仲よくしているのを見て、ひやかしたりするか。

(イ) よくする 九・二％
(ロ) あまりにする 三一・七％
(ハ) しない 五九・一％
(マ) マアそうヤキモチをやきなさん

○ 異性への関心強大!!
15 異性ともつと楽しい学校生活を送りたいと思うか。
(イ) 非常に強く思う 三七・九％
(ロ) いくらか思う 四〇・八％
(ハ) あまり思わない 一一・〇％
(ニ) 無関心 一〇・三％

な、若い君にはアシタがあるさ)

○ 昔はヨカッタ!!

18 中学時代と現在とどちらが円満につきあえるか。
(イ) 中学時代 三六・三％
(ロ) 現在 二〇・四％
(ハ) 同じくらい 四三・三％

14 現在男女が仲よくしていると思うか。
(イ) 思う 四八・四％
(ロ) 思わない 五一・六％

(高校へ来て「こんなはずじやなかつたに」と思っている人、多いんじゃない?)

16 異性ともつと積極的につきあつて深く相手を知らたいと思うか。

(イ) 非常に強く思う 三八・二％
(ロ) いくらか思う 三二・四％
(ハ) あまり思わない 二〇・九％
(ニ) 無関心 八・五％

やはり異性との積極的交際を望む声が大多数。
(だけれど、あの子のことと思えども思えども、我が暮らし、楽しくならず)

○ やはり友情……!!

17 男女交際と友情とどちらを重視するか。

(イ) 男女交際 三・二％
(ロ) 友情 四四・八％
(ハ) どちらともいえない 五二・〇％

これはあるいはつきりと区別できないかも知れないが、強いて分けた場合、男女交際を重視するのはほんの少し。
(友人と約束があるとき、デート

を申し込まれたら、どうしようかな。)

〔Ⅱ〕 男女交際の現状に関して

○ カップル。は多い方?……

18 現在特定の個人との交際をしているか。

(イ) している (ロ) していない

	青 山	旭 山	同 志 社	灘	P L	La	大 手 前
(イ) %	二九・二	二〇・七	四〇・二	二八・〇	一八・二	四三・七	一九・八
(ロ) %	七〇・八	七九・三	五九・八	七二・〇	八一・八	五六・三	八〇・二

同志社・青山学院等は(イ)の傾向が比較的強い。逆にP Lに(ロ)の傾向が強いのは、その全寮制のためか? さて大手前では……。

19 特定の異性と交際している人はそのきつかけは何か。

(イ) 同じクラス (高校において) 出身中学が同じ
(ロ) 同じクラブ (高校において) 家が近所
(ハ) その他

	青 山	旭 山	同 志 社	灘	P L	La	大 手 前
(イ)	6	5	0	0	2	0	2
(ロ)	2	12	13	14	3	10	8
(ハ)	3	1	1	0	0	0	2
(ニ)	2	0	11	6	4	4	2
(ホ)	17	6	16	5	3	0	2

資料不足のため該当数記入
どの高校を見ても(ロ)が圧倒的。13
の結果と合わせて考えてみて。

20 特定の異性と交際していない人はどうしてですか。

(イ) きつかけがない
(ロ) 意志がない
(ハ) その他

	青 山	旭 山	同 志 社	灘	P L	La	大 手 前
(イ)	三七	四八	五二	四四	四一	七一	六〇
(ロ)	三〇	四二	二九	三七	五三	二九	二四
(ハ)	三三	一〇	一九	一九	六	〇	一六

やはりきつかけがないというのが

大多数1特に大手前においては1
(ナアニ心配はいらないさ、種は
どこにでも落ちていらーネ)

21 交際は二人だけかグループか。

二人だけでつきあうのとグループで
交際するのとどちらがよいか。
意見抽出

二人だけの交際に関して
賛成論

- グループ交際より、より真剣に
心から話し合える。
- つつこんだ意見をきける。
- 多くの友の中に一人だけ親しい
友がいても不思議はない。
- それが動物的本能。
- 自分をとりつぱにしようと思っ
うになる。
- ロマンチックだから。
- 異性を見る目がこえる。
- 反対論
- 考え方が偏る。
- 相手の長所だけしか見ない。

22 特定の異性との交際をどう思うか。

- 自由に他の人と遊べないとい
うのは有害無益。
- 勉強の障害になる。
- 飽きがきやすい。
- ハヤマルナ!
- グループ交際に関して
賛成論
- 話題が豊富。
- 気づまりがない。
- 考え方が偏らない。
- 多くの人を知れる。
- 多くの知識を得る。
- ふられることがない。
- いやになつたらすぐやめられる。
- 反対論
- どんちゃんさわぎになりやすい。
- 差別される人がでる。
- 三角関係を生じやすい。
- 比較的に、グループ交際を望む
の方が多かつた。しかし、次の校
外アンケートを参照されし。

	青 山	旭	同志 社	灘	P L	La	大 手 前
(1) %	三八	二七	四七	四三	三八	四八	五二
(2) %	五七	七一	四八	四八	五九	四七	四〇
(3) %	五	二	五	九	三	五	八

これを見ても二人だけの交際を積
極的に反対するものはごくわずか
であり、大部分は、それを容認し
ているのがわかる。
(マア要は本人たち次第サ)

読書について

読書は勉強後に

1 いつ読みますか?

- 夜、勉強の後で 四九%
- 休暇中など、ひまな時に一五%
- 電車の中で 一二%
- 学校で 一二%
- その他 一二%
- やはり読書は勉強の後でするのが
普通のものである。しかし、三年生
では「学校で(特に授業中)」とい
うのが多かつた。(ソレホドベンキ
ヨウニイソガシイ?)

2 一月に何冊読みますか?

- 一年生 〇・五冊ほど 一五%
- 一冊ほど 七四
- 二冊以上 一一
- 二年生 〇・五冊ほど 八

3 どんな種類の本を読みますか?

- イ、小説 四五%
- ロ、科学、教養誌 二九
- ハ、雑誌 一八
- ニ、詩 八
- ハの雑誌にマンガも含めれば、ト
ップになる?

4 外国と日本とに分けると?

- イ、外国文学 五二%
- ロ、日本文学 三〇
- ハ、両方とも 一八
- 数年前の統計によると日本文学の方
が外国文学より多かつたのである
が、今回の調査では外国文学の方が
よく読まれているようである。
(ボウエキジユウカノセイ?)

5 誰の作品をよく読みますか?

- よく読まれる
- ヘッセ、トルストイ
- 外国部門においては、ヘッセ、ト
ルストイが多く、読んでジード、ス
タンダール、ミツチエル、ローラン、
ドストエフスキーといった名があげ
られている。概して、ロマン主義ロ
シアリアリズム文学が人気の中心
となつていようである。次ページ
の表Iに見られるように、他校も本
校とあまり大差はなく、旭で特にヘ
ミングウェイが多かつたのは、何か

外国文学ベスト3 (Ⅲ)

校名	1 位	2 位	3 位
青	風ととるにぬ	赤ととるにぬ	大 地
旭	シェンエ	風ととるにぬ	赤毛のアン
同	風ととるにぬ	狭き門	罪と罰
灘	罪と罰	赤と黒	車輪の下
P	赤と黒	車輪の下	大 地
L	大 地	女の一生	戦争と平和
大	風ととるにぬ	大 地	罪と罰

二位だったトルストイの作品が下位にあるのは、ちよつとうなずけない。他に「007シリーズ」等の軽い読み物から、「社会契約論」「共産党宣言」(倫社で読まされた?)等の堅い物までいろいろあつた。他校でも非常に多くの作品名があげられていた。

去年は、三島由起夫、谷崎潤一郎がノーベル文学賞候補として騒がれたにもかかわらず、票はあまり集まらなかった。戦後文学の沈滞のせいもあるが、戦後のものはだめだと読まずにきめこんでいる人が多いのではないだろうか。他校でもその傾向が見られる。他校では「坊ちゃん」が上位を占めているが、短かいし、面白いから票が多い

順位	作 品 名
1	破 戒 語
2	次 郎 物 語
3	坊 ち ゃ ん
4	こ こ ろ
4	吾輩は猫である
4	友 情
7	路 傍 の 石 格
7	人間 失 格
9	真 実 一 路
9	二十四の瞳

人気のない戦後文学 日本文学では、やはり漱石のものが多いが、作品別になると「破戒」「次郎物語」の方に票がよく集まった。ベストテンは次表のとおり。

日本文学ベスト3 (Ⅳ)

校名	1 位	2 位	3 位
青	坊 ち ゃ ん	路 傍 の 石	こ こ ろ
旭	坊 ち ゃ ん	破 戒	次 郎 物 語
同	こ こ ろ	人間 失 格	三 四 郎
灘	坊 ち ゃ ん	こ こ ろ	暗 夜 行 路
P	友 情	次 郎 物 語	坊 ち ゃ ん
L	坊 ち ゃ ん	暗 夜 行 路	吾輩は猫である
大	破 戒	次 郎 物 語	坊 ち ゃ ん

7 まんが大いに結構!
まんがをどう思いますか?

外国作家ベスト3 (Ⅰ)

校名	1 位	2 位	3 位
青	ヘルマン・ヘッセ	スタンダール	モーパッサン
旭	ヘミグウェイ	ヘルマン・ヘッセ	バル・バック
同	トルストイ	モ ー ム	ヘミグウェイ
灘	ドストエフスキー	ヘルマン・ヘッセ	トルストイ
P	トルストイ	ジ ー ド	バル・バック
L	トルストイ	ドストエフスキー	モーパッサン
大	ヘルマン・ヘッセ	トルストイ	ジ ー ド

理由がありそうに感じをする。

圧倒的人気の
夏目漱石

日本の作家では、夏目漱石が圧倒的な強さを示している。これは他校についても全く同じことが言え、日本全体的な傾向であろう。特に今年

日本作家ベスト3 (Ⅱ)

校名	1 位	2 位	3 位
青	夏目漱石	芥川龍之介	山本 有三
旭	夏目漱石	芥川龍之介	山本 有三
同	夏目漱石	太 宰 治	井 上 靖
灘	夏目漱石	芥川龍之介	大江健三郎
P	夏目漱石	川端康成	武者小路 実篤
L	夏目漱石	芥川龍之介	石坂洋次郎
大	夏目漱石	芥川龍之介	島崎 藤 村

は彼の生誕百年目の年なので、彼の全集も新たに発刊されるなどますます人気が高まるであろう。二位以下においては、芥川龍之介、島崎藤村、山本有三、太宰治、森鷗外、武者小路実篤、石坂洋次郎、三島由起夫、谷崎潤一郎、松本清張の順になつた。理智的作品が好まれるようであるが、寺田寅彦、三木清等の随筆書、思想

6 どんな作品が好きですか?

風とともに去りぬ

に人気

外国文学では、「風とともに去りぬ」「大地」「罪と罰」が比較的小説されている。「風とともに去りぬ」の人氣がこんなに高いのは、少し前に再上映された映画によるところが多いと思われる。続いて「車輪の下」「赤と黒」「狭き門」「レ・ミゼラブル」「ジャン・クリストフ」「チボー家の人々」「戦争と平和」「アンナ・カレーニナ」「嵐が丘」「デミアン」の順だが、作家の部で

書が見つけられなかつたのはちよつと残念だつた。他校もだいたい同じような傾向であるが、灘の大江健三郎というのがちよつと変つたところ。表Ⅳを見ると「次郎物語」も相当の人氣だが、作者の下村胡人の名はあまり見かけなかつた。作品だけに興味があるということらしい。

イ、おもしろい
ロ、くだらない
ハ、無関心

七五%
一五%
一〇%

本校生（きつと他の学校も）は、よくまんがを見ているようである。内わけは、少年サンデー、少年マガジン、マーガレット、キング、少女フレンドの順。ある人の曰く、「勉強疲れや、気分転換にはこれにかぎるよ。」また曰く、「それに面白いからネー。」これがあるから毎日が楽しいんだ。」（ドウカン。デモ、アマリム・チュウ・ニナルノハドウカトオモウヨ。）

高校時代は一生のうちの重大な過渡期で、この時期に多くの書に親しむことは非常に大切で、有益なことと思う。戦後の学生は本を読まなくなつたとよく言われるが、本校生も例外ではないであろう。



音楽について

1 どんな種類の歌が好きですか。

ポピュラー 四九%
歌謡曲 一四%
タンゴ 一〇%
ウエスタン・フォーク 八%
エレキ 八%
ジャズ 七%
ハワイアン 四%

やはりポピュラーに人気が集まつて

いるようである。エレキの人氣も、一ころよりは落ちたものの、まだまだブームが続いているようである。

親しまれる坂本九

2 歌手では誰が好きですか？

男性！
坂本九 二三%
ビートルズ 一一%
バット・ブリン 一〇%

ダイクダックス 一〇%

西郷輝彦 一〇%

立川澄人 一〇%

橋 幸夫 八%

加山雄三 七%

舟木一夫 六%

本校生は、坂本九の明るく朗らかなところが気に入っているらしい。それに彼の声の独得なところも人氣の的になつてゐるようだ。他に、大橋園一、五十嵐きよしといった本格派の名もみられた。

女性！

ベギー葉山 一四%
シルビー・バルタン 一二%
梓 みちよ 八%
ブレンダ・リー 七%
いしだあゆみ 七%
九重 ゆみ子 七%
田代 美代子 七%
西田 佐知子 六%
吉永 小百合 五%
日野 てる子 五%

その他続々と続くが、特に票を集めた歌手はいなかつた。

3 クラシックの作曲家では誰が好きですか？

ベートーベン 四七%
チャイコフスキー 一九%
モーツァルト 一五%
ドボルザーク 一三%
シヨパン 一二%
バッハ 七%
ヨハン・シュトラウス 七%

女優		
1	吉永小百合	
2	星 由里子	
3	藤村 志保	

・ヘストンよりも多くありました。女優の方では、日本、外国を合わせて、オードリー・ヘップバーンが他をうんと引きはなしています。二位が吉永小百合、一票の差で三位がジュリー・アンドリュースとなつています。

好きな俳優 洋画

男 優		
1	チャールトン・ヘストン	
2	クラーク・ゲイブル	
3	ステイプ・マッククウェーン	
女 優		
1	オードリー・ヘップバーン	
2	ジュリー・アンドリュース	
3	ソフィア・ローレン	

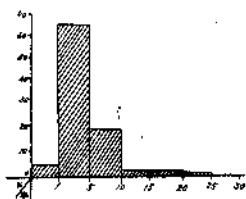
好きな俳優 邦画

好きな俳優 優をたずねてみると、男優の方では三船敏郎が数の上で、チャールトン・ヘストン、三位が三本、一票の差で十本

映画について

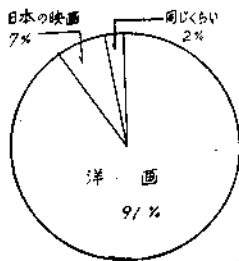
男 優		
1	三船 敏郎	
2	加山 雄三	
3	石原裕次郎	

2 年に何本、映画を見ますか。



日本の映画と洋画とどちらをよく見るかでは、だんぜん、洋画の方が多くその印象にのこつた作品もすべて、洋画になつてゐます。

3 邦画と洋画とどちらをよく見ますか。



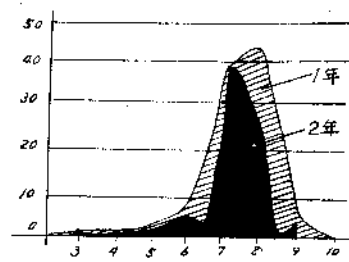
4 印象に残った作品

- 1 サウンド・オブ・ミュージック
- 2 ベン・ハー
- 3 風とともに去りぬ
- 4 ウェストサイド物語
- 5 偉大な生涯の物語
- 6 アラビアのローレンス
- 7 ハムレット
- 8 007シリーズ
- 9 エデンの東
- 10 メリーポピンズ
- 11 禁じられた遊び
- 12 マイフェアレディ
- 13 グレートレース
- 14 明日に生きる
- 15 西部戦線異状なし
- 16 ゴールデンハンター
- 17 太陽がいつばい
- 18 いかりのぶどう



その他

夜、何時間眠るかという問では一年生八時間、二年生七時間が最も多くなっています。一年生の最底時間は三時間、二年生は二時間でした。また、最高は一年で九時間、二年で十時間でした。



次に眠たくなる課目では、一年で三位までが文化系、四、五、六位と理数系になり、七位に英語R、八位に英作文となっています。アンケートにあがつていなかっただのは、英文法、漢文、体育の三つ

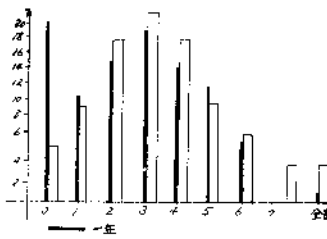
漢文	22%
古典	20
現国	17
地理	12
地倫	6
世界史	6

地理	20%
現国	19
古典	17
数学	9
生物学	7
地数	7

二年では、一、二、三位は国語、四、五、六位は社会科で二つにわかれていきます。以下九位まであげてみますと、七位数学と化学、九位保健と日本史となっています。「とら」を何冊持っているかという問では、一、二年とも同じような山型になつていますが、一年生の持つていないという人の数が多いのが目立ちます。全般に見て、二年の方がたくさん

持つてゐるようです。

8 「とら」を何冊持っていますか。



4 「とら」を持つてゐる課目

1	数 学	26%
2	古 典	26
3	漢 文	24
4	現 国	13
5	リーダー	11
6	地 学	4

2 年

1	古 典	20%
2	数 学	19
3	漢 文	17
4	物 理	11
5	現 国	10
6	化 学	5

5 こづかい

一月のこづかいはいくらかという問では表に見られるように、一、二年とも千円というのが最も多くありました。一年生は、千円～二千円というところに固まつて、それ以下、あるいは、それ以上の全額をもらつてゐる人の数はぐんと減ります。

1	1000円	33%
2	1500	22
3	2000	20
4	3000	7

16%	二年
9	
9	
5	

自分自身について

① 自分自身をどう思うか

	一年	二年	三年
イ、理想主義者	① 35%	① 36%	① 8%
	② 41%	② 32%	② 62%
ロ、現実主義者	① 27%	① 38%	① 3%
	② 32%	② 35%	② 21%
ハ、エゴイスト	① 23%	① 37%	① 2%
	② 27%	② 33%	② 17%

① 思わない ② 思う

その他、現+理+エゴ、現+エゴ、現+理、自然主義者

偉大な心の持ち主 o.t.o

三年生に理想主義者の多いのは意外な感じ

② A、理想とする人間像、全体として

人さすざまという感じ

一年

実行力がある人、謙虚な人、誠実

な人、理想に富む人、情熱家、素朴な人、優しく親切な人、父のような人

二年

深みのある人、理想を現実に結びつけて追求する人、正直な人、勇気のある人、純粋な人、意志の強い人

三年

心の暖かい人、主義を貫徹する人、理想はいくらでも大きいんだけど、全体として各学年に言えることは現実面において実行力が強くしかも誠実、意志の強固ということ。

B、尊敬する人物

一年

ケネディ、シュバイツァ、漱石、レーニン、秀吉、アインシュタイン、毛沢東、朝永、シヤストリ、リンカーン、植木等。

二年

ケネディ、シュバイツァ、リンカーン

リン、マルクス、レーニン、湯川秀樹、宮沢賢治、ナポレオン、トルストイ、父、ベートレーベン、吉永小百合 etc

三年

シュバイツァ、ケネディ、リンカーン、ヘレンケラー、チャイコフスキー、ハイネ、父、植木等

③ 自分が将来なりたいタイプ

	一年	二年	三年
明るくやさしい人	○		○
平凡な人		○	
良妻賢母		○	
男らしい人		○	
心の広い人		○	
女らしい人			○
強い意志の人			○
他人を幸福にする人	○		
いまのままだ	○		
信念のある人	○		
勇気のある人	○		
堅実な人	○		

○ 神の存在を信じているか

	一年	二年	三年
いる	31%	27%	25%
いない	69%	73%	75%

信仰について

○ 信仰している宗教

キリスト教	12人	立正教会	1
浄土真宗	3	生長の家	1
天理教	2	曹洞宗	1
創価学会	1	真宗	1

○ 死後の世界、靈魂の不滅を信じるか

	一年	二年	三年
信じる	29%	27%	24%
信じない	71%	73%	76%

特定の宗教を信仰している人ばどいわずかにすぎない。又、①③につい

でも信じない方が多い。大部分はあまり宗教というものに関心がないようだ。

ベトナム戦争について

一、関心があるか

	一年	二年	三年
ある	81%	80%	83%
ない	19%	20%	17%

各学年とも「ない」と答えたのが20%近くあつた。私達はこれでもいいのだろうか？

二、ベトナム解放民族戦線をどうみるか。

一年

○ 民族主義

かわいそう

○ 共産主義の主導権

○ 南ベトナム政府に

反対する人々が北ベ 無意味

○ 中共のあやつり人形

○ 北ベトナムの手下

○ 民衆、共産主義者の反政府運動

○ わからない

○ 民族主義者の集り

○ 共産主義の手先、一あやつり人形

○ 民族主義→共産主義に關係

○ 民族主義者の集り

○ 共産主義者の横暴

○ 少数の幹部が民衆と言葉巧みにまきこんでいる。

○ 共産主義をもつ民族主義者

と

○ 共産主義をもつ民

族主義者

三、アメリカの態度をどう思うか。

一年

▲ 正当である

○ ベトナムの共産化は許せない

○ 侵略行為とは思わない

▲ 不当である

○ 帝国主義・植民地主義・自国の利益追求・侵略行為

○ アジア民族のことはわからない

▲ わからない

▲ 仕方ない

二年

▲ 正当である

○ 共産主義との対立はやむえない

○ ベトナムをたきつぶせ

○ 中国侵略とは考えない

○ ベトナム自由のために戦つてい

る

▲ 不当である

○ 帝国主義・植民地主義

○ 南ベトナムを無視した態度

○ 人類の敵・ひきよりの者・偽善者

・でしやばり

- ▲ わからない
- ▲ 仕方がない

三年

- ▲ 正当
- ▲ 不当

- 帝国主義

○ アジア問題に口を出しすぎる
四、ベトナム戦争を罪惡とみるか。

	一年	二年	三年
みる	89%	79%	81%
みない	11%	21%	19%

五、ベトナム戦争の解決法について

一年

- 米国の撤退
- 国連による調停
- ジュネーブ協定にもどる
- 共産側も米側も手をひく
- 中共が手をひく
- 北ベトナムの譲歩
- 平和的に話し合ふ
- 二年
- 米国の撤退

- サイゴン政府とベトコン合体による中立化
- 南北とも手をひく
- ジュネーブ協定にもどる
- オ三国による調停
- 国連による調停

○ どちらかが全滅すれば自然におわる

- 北ベトナムの四条件受け入れ
- 中・ソが米帝をやつつける
- 三年
- オ三国による調停
- 人民が戦争ボイコット
- ジュネーブ協定にもどる
- 米国の撤退
- 四条件受け入れ
- 中共が折れる、北ベトナムがソ連と提携し、ソ連が米側と交渉
- 五では話し合いを、米国の撤退、という意見などが多かった。
- 二・五を通じて時々面白半分のものや、感情的でしかないものがあつた。

ベトナム戦争は、私達が真剣に考えね

校名	思	う	思わない	わからない
青山	二〇・〇%	六三・三%	一六・七%	
旭	七・五	七八・六	一一・九	
同志社	二一・〇	七五・〇	二・〇	
灘	八・四	七八・一	一一・五	
PL	二二・二	六九・四	九・四	
La	三九・四	五六・一	四・五	
大手前	五・一	八二・五	一一・四	

自治会活動の活発化が、叫ばれている折、他校においての自治会について調べてみた。
一、貴校の生徒会は活発だと思いますか。

各校の自治会

ばならない問題ではないか。

以上に述べた以外にもアンケートをとりましたので、ごらんになつてくださる。

以上のように、本校において「活発だ」と思うは、五・一%と低い。

しかしながら、次の表でもわかるように、自分から自治会の活発化に働きかけようとしている人が多いのはうれしい事だ。なお、ラサール・PLで活発なのは療制のためと思われる。

二、自分も役員として自治会活動に加わる意志がありますか。

校名	ある	ない
青山	二二・九%	七六・一%
旭	二五・〇	七五・〇
同志社	二八・七	七一・三
灘	一九・七	八〇・三
PL	二〇・七	七九・三
La	三一・八	六八・二
大手前	三〇・五	六九・五

また
三、不活発だとすればその原因は何だと思えますか。

これは、各校とも七〇%以上の人が「会員の無協力、無関心」をあげてゐる。

クラブについて

校名	属している	文化系	運動系
青山	六一・〇%	四五・〇%	五五・〇%
旭	六八・〇	六七・三	三三・七
同志社	五〇・〇	四六・八	五三・二
灘	五八・七	四五・六	五四・四
PL	七九・八	四八・〇	五一・〇
La	六七・七	五七・五	四五・五
大手前	五一・〇	三〇・〇	七〇・〇

このように、どの高校でも、五〇%以上の人が、クラブ活動に参加している。また、一般的に見て、運動系のクラブの方が多いようだが、これはクラブ数にもよるのだろう。

我校にない、見あたらしいクラブとして、ゴルフ(PL)・PL理念研究(PL)・ユネスコ(灘)・琴曲(旭)・オルフォイス[合唱団兼聖

歌隊(同志社)・フエニング

(青山)・馬術(青山)等があつた。

理想像について

一、尊敬する人物がありますか。

校名	ある	ない
青山	五六・〇%	四四・〇%
旭	六一・四	三八・六
同志社	七四・〇	二六・〇
灘	五七・一	四二・九
PL	八三・五	一六・五
La	六〇・三	三九・七
大手前	七二・二	二七・八

このように、各校とも半数以上の人が「尊敬する人物がある」と答えている。

二、ある人はその人物をあげて下さいという質問には、
御本徳近 (PL学園)

新島 夢 (同志社)

B・ラッセル

ケネディ

ナポレオン

松下幸之助

豊臣秀吉

等があがつている。

三、将来どんな職業につきたいか。

ジャーナリスト

実業家

技術者

薬剤師

医者

が多い。

大阪府立大手前高校について

一、知っていますか。

校名	知っている	知らない
青山	十四・八%	八五・二%
旭	九五・〇	五・〇

同志社	七九・九%	二〇・一%
灘	五五・七	四四・三
P L	四〇・六	五九・四
Ia	二八・四	七一・六

しかし、他校生の大手前高校のうけとり方は、実に様々である。

○ 大変楽しそうに学校生活を送っておられるような感じだす。(P L)

○ あまり好きでない。高慢できどつていて自負心がありすぎて見た感じイヤな感じ (同志社)

○ 特色のない学校だと思つてゐる。(Ia)

○ 大手前生は、実力も高いし、すぐれた生徒がそろつてゐると思う。エリート意識にとらわれずにはつらつと高校生らしく勉強にとりくんでほしい。(Ia)

○ 秀才高。貴校の女生徒はどうも、あまり女の子らしくない。(同志社)

○ 大手前高校というところか思ふくしく

なる。

○ 校舎がきたない。

等々

(同志社)
しかし、本当の大手前高校を知らずに、その名前のもつイメージから、私達、大手前生に対して、固定した感じをうけている人が多くみうけられるのは、残念な事だ。



特集 I

座談会



大手前生について

出席者 渡辺 (議長)

蕭・嵯峨 (書記)

島岡・野村・岡・荻山・

中島・校長・彼谷・田中

議長 まず授業の面から、授業中の

態度から。どうですか。荻山君、大手前高校生は他の学校と比べて、特異な感じがするところはありませんか。

荻山 1 他の学校は知りませんから。

議長 1 そのとおりですが、大体。

中学の時と変つた点は?

荻山 1 先生の教え方、わからへんかつ

田中 1 さっきの人がいつたように自主

的勉強というような面が多分にあるような、それから授業態度は中学校の時と比べると中学の方が相当まじめで今は気がたると思ひます。一年生やつたらわからないけど二年生になつたらたのしみというような物が、

議長 1 授業中のたのしみですか?

田中 1 まあ、そういうことです。一年生はまだせつばつまつたような感じだね、三年生となるとそういう感じはないけど、今は慣れないというのか、そういうことで、おもしろさがない。二年生

になつたら多分おもしろくなる
と思います。

議長―それで高校の勉強の特色として
自主的な勉強といふことが、
特にこの学校ではよく言われる
のですけど校長先生はどう思わ
れますか。高校の教育としては
こういうものでなくてはならな
いというよりな抱負なんかどう
ぞ。

校長―高等学校といふものはねえ。
そう言われても、義務教育では
ないし、ましてこの頃の学校教
育といふものは非常によくでき
る人が多いのでねえ。懇切にい
ねいに机の所でいつてどうす
るという話しやつたけどこれは
荻山君自身がそういう指導をう
けたわけではなく、むしろ同級
生でしよ。授業がよくわからな
かつた人がかなり多かつただろ
うと思いますね。そういうこと
をほとんどうけていない、うけ

なくてもわかるような人がここ
に来てゐるんだからね。そうい
うことも少しはあるんじゃないか
なあ。事実、そこまで教えたあ
かん生徒も少ないだろうし。
もう一つは三年間にやらなけれ
ばならない材料も多いし、まあ
諸君の望んでおる所もかなり程
度が高いので、それを達するた
めには先生としてやつぱり諸君
が自主的に努力するといふこと
をせなあかんのところがやない
かとぼくは思います。まあ特
にそういう心がなければ本当の
高校教育はできないような気が
するんですけれど。
まあ諸君がよくわかつてゐるだ
ろうという気が先生にもある
だろうと思ふんです。まあしか
しある程度授業といふものはや
つぱり生徒が興味を持てるよう
な授業は必要ですね。なかなか、
その点両方うまく調和させてい

くことにむしろ先生方が苦心な
さつてゐるんですからね。まあ
教える方、教えられる方、両方
ともいつしよに満足できるとい
うものは私の経験から言つても
、ぼくも長い間、授業していな
いが授業してゐた長い経験から
言つてこりやよかつたなという
ものはほとんどありませんね。
それほど授業といふものはむず
かしいものです。
議長―先生は世界史でしたね。
校長―まあ、世界史でしたが、こつち
がかつてにしゃべつてゐるけど
も生徒の方は内職してゐたとい
うことを卒業した生徒から聞く
しね。
まあ本当に先生の授業はむずか
しい問題ですし、もつとも実際
やるためには設備が不十分です
ね。現在学校の生徒の数という
ものも多すぎるしね。そういう
点では現在日本の学校が飽和状

態、飽和というよりはむしろ超
過状態という気がしますね。

こりやいかなる会合でもそうい
われておるんですが、本当に
そう思ふんです。

まあそういうわれわれ教師が
責任を回避するんじゃないん
ですけど、やるだけの事はやつ
ておるけど、どうも本校は特に
設備が不十分な点もありまし
てね。その点みんなに迷惑かけ
てゐる方面もあるんです。

田中―それと生徒側として、授業中
にやらなくても家に帰つてやつ
てでもできる、そういう気があ
ると思ふんです。 そういう
点についてちよつと聞きたいん
ですけれど。

校長―どういう意味ですか。
田中―極端に言つたらね、授業中にい
ねむりしていても帰つてまあ教
科書でも覚えて問題集でもやれ
ば、それでマスターできる、

そういう人がゐると思ふですね。
議長―それじゃ現在の教育では、別に
学校に来なくても自分で勉強し
さえすれば、学校のことはで
きるんじゃないかといふのです
ね。

田中―いえ、そういう人がゐるから、
それについてどう思われますか
議長―どうですか中島君。

中島―今言われたそういう面もあると
思ひます。学校へ来てぼくなん
かあまり授業重視せず、自分で
勉強して行く方ですかね。
まあ、時々学校へ行くのいやだ
なあと思つて家で自分で勉強や
つてた方が効果あるんじゃないか
と思ふこともあります。やは
り学校へ来てたらそれだけ何か
いい所あるんじゃないか。何か授
業中ただいい加減に聞いていて
もこれだけちがうのかと思ひま
す。

議長―何か自分では勉強できない面が

一つでも発見できるということ
ですね。

校長―自分でやるということばまあま
あ自己満足で、間違つておる
所がわからんこともあるし。

そりややつぱり学校へ行く方が
得です。時間の得とか損とか言
う問題ではないと思ひますね。
まあ友達に素晴らしいのが居る時
だつて有るから。

むしろ学校の良いところは先生が
そう言ひ大事を言つてくれ
るという事と同時にまた友達と
いうものが学校の一番のぬりち
じやないですか。

議長―岡君どうですか、授業について
岡―まあおもしろくないと言ふか一
方通行的なね。先生がばあつと
話すだけで、大手前はさつき友
達とのつながり何とかかんとか
言ひはつたけど、友達といふ
んな事でも討論したいのです。
ぼくら自己形成期に當つ

てその中で一番大切な友達といろんな事話し合う。そんなことでも、ぼくらの学校ではホームルームの時間がごつごつ少ない討論会なんかでも学期に一回か二回しかない。やつぱりそんな所でカリキュラムの組み方とか学校の方でもうちよつとそんなことやつていつて ほしいなあと思いますけど。

議長―もつと先生と生徒とか生徒間で話し合いをする時間をつくつてほしいというわけですね。

まあそういう高校生活が望ましいわけですね。

校長―ぼくはわからんのだけだね。そりや君たちがそれで一方通行でどんな言わんの？むしろあんた達から一方通行を認めておるわけやね。まあ質問もできるし質問したらあかんという先生もいないやろう。

ぼくたちの若い頃は質問して先

生をこまらせることが一つの楽しみやつた生徒もおつたし、ぼくはそんなことせんかつたけど一方通行になるのは諸君がそういうことをせんからかもしれんね。それはやつぱり質問してほしいです先生は。ぼくはまあ教師が間違つてそれを生徒からつづこんで来るとそれが正しい知識になるので先生はわざと間違つた方がいいと思う位だ。結局質問するのが本当やないかなと思う。

岡―ぼくはもちろんそりやと思います。ぼんてまあぼくとしては授業以外のことで生活一般のこととか人生のこととかいろんなことにいつて話し合いの場が少ないというんです。

荻山―それであの質問ですけど、よく先生方から生徒を指名して、こようわかるか、ちつと説明してみい。という質問されるので

すけどね。やつぱりぼくらからそこはそういう解き方とは別の解き方があるというのと、そういうことを嫌われる先生方もいるようみうけられるのですが。そりいうようにはいまいち質問したり深くつづこんだら今の進路では遅れてしまふんだがそんな事もあるのと同じです。

校長―しかしそりいうのは教員室へ来てやつているもんだと。

岡―それにしても今の僕らする事多すぎるのと違いますか。

校長―日本の教育は昔からそうだ。学問に熱心というのか、内容は多いですよ。昔からです。その点現在も変らないと思います。今問題となつてゐるんですがね。負担は多いですね、日本人が能力あるんかしらんけど、あの厚い教科書に参考書までつけてゐるんですよ。全部マスターするといつたら大変でしょう

な。

岡―先生の言われる通りしていたら何もできなくなる。宿題、予習、復習、帰つたらそれですつと忙殺される。

校長―それが君達の本来に希望している所に達する一番良い方法だと思つてこの学校ではやつてゐるんですがね。結局大学へ行くたいやろうしね。普通にして普通以上の結果は常識ではまずない。

岡―今の大学入試制やつたら本校の学習みたいになあかんと思ひしね。やつぱり問題は今の入試制度そのものやと思います。

彼谷―ぼくは入試制度そのものとは思わない。今の方法が一番いいわけじゃないけど、今変えろとしたらぼく自身名案もないしね。あんなもん紙で一発なんてだれでもわかつてゐることやけど、さでといふことになると……

岡―一つの原因として社会の学力偏重というか。彼谷―学力偏重はいかんという事は十

分だれでも知つてゐるんだけど、でもね。これ又いだけで終らんものですね。さて解決策があるかと言われても名案もないわけ、これはやはり歴史的にこうなつていく過程だろうね。そのうちだんだん整備されて定款な流れになるんじゃないかね。

特に最近ほんとにもな者で大学へ行かない者はありえないという風になつてゐるね。そうなつてくると矛盾が多くなるやろね。単に受験科目が多いとか内容がむずかしいという問題ではないと思う。

ぼく自身数Ⅲおしえていて大へんだらうなと思ひ。じゃどうなつて来るかというところからまずまずそりなると思ひんだね。大手前で相当物理数学が好きで大学行つてもそりやつたといつてもまだ先々すすむ

人の足もとどろりね。まともな本もわかないだろう。

生まれてくる時はいつしよやらね。歴史やつたら要々おいていく事ができるかもしれないが具体的に蓄積されていく学問で身を立てようと思う人はたいへんだね。だからそういう意味では学科がえらくなつてもつと早くその方向に行く人の選別が行なわれるようになるのちがうかという気がする。そうしたらもう一つつらい受験勉強になるかもしれないね。

荻山―ほくこうこうする方法があると
言うとええかつこするなと言われ
ました。

彼谷―気の合つた教室なんかではけん
かみたいなもんやね。答案にお互にケチをつけ合つたりあんまり合つていたら字がきたないという位で。

田中―授業内容ですけど今一年の古典

で生徒間で討論し合うことをしているんです。米あたりでは盛んだそうです。

彼谷―学科の性質によるでしょう。

一時小学校あたりでしたらしいけど、みんながうまくチーマをみつけてくれるわけでもないしけつこう誘導尋問してもつていくんでしょ。最近それに対してかなり批判もあるようだね。

校長―戦争直後今いつたようなことを各学科でやつたんです。ただ学科の予定の通り進まなくて

野村―今の制度でもね、いろんな参考書なんかみて生徒が一応調べて、それから授業うけるというのが理想でしょうね。

時間的に毎日6時間の授業をそのようにするのは不可能じゃありませんか。

彼谷―ある程度ベースにのつたら徹底的に予習する必要もないわけだし、徹底的にしたらこんなあり

がたいことはないけどね。

先生がこころへん言つてゐるのかなあと思つて聞いているの何の話しがあるのかしらんのだいぶ違うね。その程度だつたらそんなにわからないのじゃないか。

そりゃ心いれかえてやるのやつたら単語調べるのに2時間も3時間もかかるだろが日頃やつていれたいとしたことはないのちがうか。明日先生がどういにか聞いてみようという程度でいいから問題もチヨクチヨクやつてりまうかなくてここは聞いておきたいという所をつくれれば理想的だと思ふ。

野村―現状は。英語と数学やつたら先生はそう言われますけれど英語は二つやらなければならぬし、チャート・オリジナルなど外の学科に手がまわりません。

ある先生がこの学校は英数に力を入れて他の学科をやらないから同じ問題にしても程度が低いと言つて嘆いておられました。

彼谷―やつぱり数学はたいへんだと思います。ほく自身何年やつてもかいしよがないもんで、明日10問題教えると言われて問題10題解くけれどあれでけつこう時間かかるもんだね。だからみんながやつたらもうちょいかかるやろつね。ハハハハ……

議長―授業については、これから予習などの形で自分から積極的に、何らかを先生に求めていく、というようなことで一応うち切つて、こんどは友情とかそういう方向に話をかえていきたいのですけれど。校長先生の若かりしころは……？

校長―制度が違ひるので比べられないですけれどね。中学校は今と同じで違ひないけれども、クラスが

たつた四十人でね、大きな学校でも生徒全部一年生から五年生まで八百人という程度でした。高校の方がむしろ、旧制の方やけれども、入学したら一年は全部寄宿舎へ入るといふうで。それと、こちらの生徒もそうですけれども、生徒がみんな選ばれてきて通つたといふことで、非常に似ている者が多かつたです。ほくら昔の中学時代の友だちのことなんか思い出して、ずい分愉快にやつたなあ、という感じがしますね。まあ、今ここにににいる人たちのようにむつかしいことはやらなかつたけれども、やはり予習復習もかなりやかましく言われたし。数学でも黒板の所へ行つてやらされるし英語では毎時間暗誦というのがあつて前の時間習つたことを言わされるんです。まあそういうふうなことがあつてずい分して

かれたけれども、今の人はど神経質じゃなかつたのかなあ。やつていない者はそれで頭かいてじつと神妙にしていたら、それでどうにかいつたものですね。遊ぶ時にはずい分遊んだし、友達との間の気持というの、胸中を開いてというのか、ほんとうにありのままでつきあつていたし。今の新制中学の一年から高校の二年ごろまで、昔の中学ですから五年間ですけど、その当時の友達是非常に愉快です。岡―それぐらいの年頃でほくらと言つたらどういふのかなあ。学業の負担の大きいことからね、たとえばさつき神経質である、というようなことを言われましたけど、それは……

校長―それはね、ほくはね、世の中が諸君達を刺激して神経質になるようにしているような気がするんだけどね。ほくらのは時はね、

小学校を出てです。中学校の試験を受けにくのね、ある意味においては今よりもずっときついです。ずばり答案紙だけでやつてしまふんですからね。親がついていくようなのは一人もいなかったですよ。高校の試験なんて、親がついて行つたら笑われますわ。

彼谷ーぼんやね。ぼくらはむしろ、親から離れてひとりで泊まりがけで試験を受けに行くというところに自由を感じて、こりやうれしかつたね。

これもまた社会へ話を持つてゆく、というけれどもね、あのころ高校生と言えどもどこへ旅行へ行こうが、そりやもう大つびらに行きましたね。親もなんとも言わない。ところが、今君たちがひとりで北海道へ旅行するとしたら、やつぱり親が心配すると思うがね。その親が、保

育過剰の意味で心配なのじやなくて、事実心配しなくちゃならない社会情勢でしょう。前はそりではなかつたんですよ。中学の四年になつたらもう平気で行きましたものね。今ごろ中学の三年や四年の子がひとりで旅行に行つたら、「家出ヤ」と言つて保護されるぐらいですよ。事実保護してやらなきゃいかんほど世の中が物騒だよ。フラッシュと宿屋へ行つて、中学校三年ぐらいの小さいのが偉そうな顔して「泊めてくれ」と言つたつて泊めるだろうか。一応警察へ連絡するだろうね。以前だつたらそんなことはなかつた。だから、そういう社会であつたという事で、一概に君たちが悪いとか不利とかは言えないと思うね。

それから、昔は高校の年ごろに

よく遊んだ、君らはどうして今 校長ーぼくらの頃の大学生は1%だつ

いじめたおされていて、そのように遊んだらいけないか、よく出ますね、この話が。あれも割り切つて言えば、あの頃は大学へ行きたい者はまず入れる。あの、校長先生、入学試験ありましたか。

校長ーイヤア、学部によつてね、二百人採るのに百人ぐらいしか来ない学部もあつたし。

彼谷ーまあこの学部もはいるに決まつていたね。それで極端に言えば、競争相手が少ないから大学出ればあるポジションにつけるといふことも、当然保障されている。単に就職できるだけでなく要職につけるといふことが決つていましたね。よつほどのことがない限り。今は大学出て就職難だけれど。やはりそこで気楽ですね。大部そういう点で違うと思うんです。

が出てね
いう気がする。

た、その概当年令の。現在は十五%である。なんぼ大学を受けつたつてね、門が狭くなる。

彼谷ー今の時期はみんなにあいつたのんびりしたことさせないつて言うけど、これはやつぱり、なんでも社会問題にくつつけて悪いけどそちらへ行つてしまふね。

議長ーちよつと待つてください。友情のこととどういう関係あるのかわからないけど。

彼谷ーだからね、みんなが楽しく語ろう、とか何とか言つてくれるけど、そりいう時間が持てない、単なる通行人に過ぎなくて、同学年なのに顔と名前がはつきりしない者がおるといふことになる。それで、友情というものが、個人的なだけかだけはあり得ても、ある一つの高等学校における大きなムードとした友情というものはなかなかな芽ばえにくいだろうと思うね、ぼくは。

校長ーだけだ君たちでも数人の友だちというのはあるでしょ。それだつたら今も昔も同じなんです。島岡ー最後はそれですからね。

彼谷ーそれは、大人になつてもそうだけれど、人間には本当に親しい友だちは五、六人以上できるはずない。これはどうしてもそうなんです。

岡ーそれはそりでしょうが今はちよつと極端だと思ひます。同じクラスにしても全然意見の交換もしないし、授業が終つたらすぐバツと家へ帰つて勉強する。

彼谷ーそりいう空気は確かに多いね。校長ーまあ、ぼくらの時一番今と違うのは、上靴をはかせてくれないので足袋のままで廊下歩いてたんですが、授業五十分休み十分でして、その十分の時にわざわざ下駄箱の所へ行つて通学用の靴とはきかえて運動場へ出て遊ぶんですよ。全校生に近い人間

校長ーそういう点でぼくの中学校に変わったのがいてね、今だに目に浮ぶけど。年中上着を必ず脱いで遊んでいてね。ぼくらでも、

校長ーそりや、余裕なんかないですよ。岡ーそりや、余裕なんかないですよ。寒くて上着を着ていても必ず脱いで遊んだものですが。運動場も生徒で一杯でしたよ。ここの運動場は、危い、危いと言われまして。そんなものではなかつたですよ。四隅で必ず草野球をしてる。それをまた入り乱れて見ている。真黒ですわ、生徒で。ボールが行きかいするし。軟球ですから危険はないけれど。運動場一杯生徒が出ていたといふことが今と違つてゐる。やつぱり余裕があつたんですよ。

荻山「それよりね、ぼくびつくりしたのは欧文社の模擬テストの案内に「敵」と書いてあるんです。こうなると、一種の戦争ですね。校長「それはね、言うだけやる、本心では無いですよ。そんな意味の「敵に勝つにはまず己をよく知

れ」て。全国席次が出るようなものでちよつとえげつない感じでした。」

(この後座談会はずつと続きますが、紙面の都合でここで打ち切ります。)

特集 論 説

スリッパ

坂 好 夫

スリッパ問題、正確にはツツカケ問題と呼ぶのがよいだろう。

今から一年七カ月前、即ち三十九年の七月二十日、一週間余のテスト休みを終えて、終業式の為に登校してきた生徒達は、校門のところで、自治会常任委員達に一枚の印刷物を手渡された。そこには、スリッパ禁止さる、というよう

指導部と交渉したこと、その中でいろいろの説明があつたが、いずれも納得のいかないものであつたこと等が記してあつた。これが、学校、生徒とも驚くような大問題へと発展したスリッパ問題のきつかけだつたのである。学校の最初の案では、九月一日からツツカケ禁止を実施するということだつたが、自治会庶務部などの粘り強い交渉の結果、九月一杯を猶予期間(学校側では実施準備期間というよりな名称を使い、クラスによつては、九月中でも強制的にズツカ靴に履き変えさせられたところもあつた)とすることになつた。

その一カ月の間、常任委員会では、役員改選などで多忙だつたにもかかわらず、相当な力をこの問題に注ぎ込んだ。総会、学年集會も次々と開かれ、一年生などでは五百名全員が集まり、会が終つた後もなお数十名が残つて白熱した議論を展開するほどだつた。その上、執行部以上に一般会

員の盛り上がりもまたものすごく、三年生が始めた署名は約二週間足らずで、一千名近くを集めた。そのほか、よくないことではあるが、二度に渡つて非法ビラが撒かれたことも、生徒の関心を高める上に大きな役割を果たした。

だが、夏休みをはさんだこと、自治会役員の改選期にあつたこと、学校側の態度が非常に強硬だつたことなどが災いして、ツツカケ禁止反対運動はそれ以上進展しな

学校と生徒との実質的な交渉へと移つていつた。この協議会は四十年後期になつてからも、引続き開かれ、去る一月の会合で遂に足かけ三年に渡つたこの問題も、大筋ではほぼ合意に達し、後は正式文書を作成するという段階までこぎつけたのであつた。

以上スリッパ問題の経過を大まかにたどつてきたが、いくつかの重要な点の補足をしておこう。

◎ まず、学校のツツカケ禁止理由

最初、自治会庶務部が生活指導部から聞いた理由は、やかましい、みつともない、危険であるなどの主に機能上の観点からだつた。しかし、後には、登・下校の際にツツカケやゲタを履く者がいる。校庭でツツカケのまゝ運動する者がいる。革靴まがいのもので、ツツカケと称して履く者がいる。これらに対して再三注意したが聞き入れない。だから禁止したのだという風に変わつてきた。

◎ 生徒の禁止反対理由

一、機能上の観点からみる場合、例えば、アンケートの結果、スリッパで怪我した者は一人もいない。その上、先生の中にも、依然としてスリッパを履いている人がある。

二、後半の理由については、我々にも若干そのような風潮

があつたことを認めざるを得ない。よつて、これからは自治会庶務部で強力に取り締まる。

三、一、二の点をふまえて、とにかく腰ききたい。

四、こんな小さな問題は生徒に任せるべきだ。

五、北野高でもツツカケが禁止され、その後、能研テストの受験強制が実施された。この例をみてもわかるように、これは教育の反動化の才一歩だ。

六、このように身近な問題について校則を決定するときには、生徒の意見も聞くべきだ。

七、校則の決定の際は、生徒の同意を必要とする。

以上のようなものが主な理由だが、四と七は少数意見で

三、五、六が圧倒的な意見であろう。

◎ スリッパ問題協議会について

総会決議は校長によつて拒否されたが、その際、白紙に戻つてこの問題を話し合おうとの趣旨から、この協議会が設置された。この協議会はあくまでも意見の交換を目的としたもので、団体交渉の場というよりな、組合運動的性格は全くないということが始まつたのだが、一部の人達（職員、生徒共）がそれを混同した為、やゝ混乱した点もあつた。しかし、大むね順調に進んだので、数度にわたる話し合いの後に、これなら、お互いに納得できるといふ線が、双方で了解されたのだつた。



全日制・定時制交流

東 聡 明

全定交流は、もともと前期役員が実現一歩手前までつていつていたのだが、台風などの理由ですべて中止になつてしまつた。

後期はそれを受け継いで実現させたのだが、経過は、はじめ自治会役員同士で話し合った時、定時制がすでに学級代表と本部役員からなる委員会をもつていふということと全日制も実行委員会を成立させた。

この委員会は、学級代表（副会長ではない）として一、二年から各クラス一人づつ選出してもらつて、その人々と自治会本部からは渡辺君が加わり計21名で発足したが、ここでも自治会に対する一般会員の熱意がないというのか、実際活動したのは一年生が主であつた。よく働いてくれたと思うが、定時制の人がしつかりした態度で開催のうち合わせて当つたのに対して、全日制はどうしても仕事が遅れがちだつた。指導的な立場にあるものの感覚の違いだと思ふ。

なお、この委員会は当初各クラスの副会長で構成するよりに本部は計画していたのだが代表会議で否決された。

具体的内容はご存知の方も多いと思うが、各クラスの副

最後に、この問題の真の原因がどこにあるかは、まだ断定すべき時期ではないだろう。

しかし、私はこの問題でこのようなことなら、今の段階で言えると思う。

まず、生徒のもつエネルギーの大きさである。熱意のない自治会執行部をつきあげて、とりとう最後までやり通した。自治会の停滞を打破るカギはここにあるのではないだろうか。

次に、スリッパ協議会の設置である。この程度では、まだまだ不十分なものだが、あらゆる意味で大きな前進である。

この文章ですら、一部から随分文句もでるだろう。現在の校内における関係はこの程度のものである。しかし、こんどの運動で、みんな色々の教訓を得ただろう。それが上手に利用さえされれば、この問題の意義もより高められるだろう。

会長と実行委員同志の話し合いと、クラブの代表者同志の話し合いと、一般会員同志のフオークダンスの三ヶ所にわかれておこなわれた。

初めてのことにしては大成功とまではいかなくても成功の部類にははいつただろうと思う。

全定交流会の問題点は、クラブの代表者に参加を要請しておいたのだが集まつてくれたのは半数程度であつた。この点は定時制側からも尋ねられた。この会の具体的成果はなかつたが、音楽部がその後定時制音楽部と交歓会をひらいた。

全・定交流は全日制と定時制が同じ校舎をつかつて、お互に要望などがあるにもかかわらず、そういうものを話し合う機会がなかつたので開かれたのだが、クラブの例にも見られるように、ただ単に交流会は催しものだけということでは二回目に開くのは無意味だと思ふ。

又、全定交流ノートが本部に眠つてゐるが、お互の意志の疎通をはかるのに用いられるようにならないと、これらどこかのクラスのクラスノート同様になつてしまふ危険性が大いにある。又、副会長の人々にも全・定交流に対して認識の全然ないものが多い。クラスのトップクラスの副会長でさえこういふ状態では交流会の内容のある発展はむずかしいと思ふ。

毎日勉強のために早く帰る人には関係ないが、クラブで

は定時制に迷惑をかけることが多い。文化祭の準備で試験をうけている定時制の人々にかなり迷惑をかけたクラブもあった。交流会でも運動系クラブに対してもかなり定時制側から不満がきかれた。又クラスでは定時制の給食できたなくなっている机や教室があつた。現状ではこれらの問題が全々無視されて、すくなくとも全日制側から解決しようという動きはほとんどない。これらの問題についてフォー・クダンスに参加した人、クラブ代表者、学級代表がもつと真剣に考えるようお願いしたい。

つれづれなるまゝに

木村 典 成

学校生活の才一の意義は、自分の人間性を高めていく事だ。勉強はその手段にすぎない。しかし、いくら良い成績を取つたからといって百点なら百点だけの人間性が完成されると思つてはいけない。それは人間の打算的な損得づくの人の考える事だ。勉強がその手段というのは、人間性を形成する道徳観即ち倫理性を養うためのものなのである。勉強がもつと広い意味に使われれば、それはそのまま人間形成につながる。こう考えてみると、人格と勉強というのは、我々学生にとつて、ちょうど化学変化のように何々すれば必ず何々になるというように思われがちであるが、私

のハートはそれを許さない。一つの人間を造ることは、そんなまやかしなものではないということは誰でも周知の筈だ。

水素分子二個と酸素分子一個を燃やせば水ができるという事は、今では自明の理であるが、人間世界では、それがアノモニアになつたり王水になつたりする。即ちそこには、正しい向上意欲と忍耐が必要だ。さほど努力もしないのに失敗すると安易に運命や神を口にするのはもつての外である。失敗して友人達から「運命だから……」といつて慰められて、成程と思ふのは養生に値する。自らの油断や、怠惰からの必然に生まれた結果を、偶然のように思い込み、運命を責任の材料にする人があれば、それはお目出たい人の思ふ事で、弱い人である。強い人であるなら、反省し、もう一度新たな努力をもつて向上しようとする筈だ。三木清の「人生論ノート」を読んだが「運命は、必然であり、偶然である。即ちもし人生が必然であれば、人は希望がもてず、従つて希望なしでは生きられない人間は存在し得ない。又偶然であるならば、やはり未来に希望が持てないから人間は生きてはいられない。しかしながら人間は存在している。」というような事だつた。そもそも私達の年齢で「運命だから……」というのは間違つてゐる。

近頃私は、クラスの中でも、自分はなぜ勉強しなくてはいけないのか、人生の最終の目的は何なのか。自分の天命は

何なのか。という事で悩んでいる人に会つた。その答として、「自分は絶対に有名になりたい、そのためだ」「幸福な、家庭を作ること」「自分の人間性に自己満足するため」等が出た。私自身は三番目の意見に近い。私は、前に書いた事を、そうあるべきだと思つてゐるつもりであるが、往々にして、それに反する自分を発見することがある。その度毎に、私の考えは、頭の中だけにある観念にすぎないのであるかと思ひ自分の弱さを嫌悪したが、最近ではそれでも余りがでてきた。それは、大抵テストの時だ。大きな試験は仕方がないとしても私達の学校は、小さな試験をしすぎるように思う。大手前生は、まじめなのか、点取り虫なのかわからないが、どんな小さな試験にも一生懸命になつて調べる。偉いとも思う。そんな時だ、私が苦痛を覚えるのは。私は語学が好きで、本など買つて読もうとするが、いつもそんな試験のために止むを得ず、好きな勉強を断念しなくてはいけない。それが続くと習慣というものはおそろしいもので、好きな勉強への関心も研究心もおこらなくなつてしまふ。そんな度に、「私はこれでいいのだらうか。私の個性はどうなるのだらう。このままでは機械になつてしまわないうか」と思ふことしばしばである。自ら起つた研究心をこのまま去るのは惜しい。結局は、その二つの問題が、頭の中で堂々めぐりして、どうしていいかわからないままコンペヤーの上であがいてゐる私である。

る。私ばかりではないと思う。私は、多くの人がこのようにして研究欲を失つていくのが残念で、機械化していく人間が怖ろしい。どうしようもないというのが、現在の学生の状態ではあるまいか。これが更に日本の国の性質づけをしているのだ。片寄りはいけない。安定そうで、不安定な状態だ。全く魅力がない。考えつめれば、結局は、日本の教育制度という難しい問題につきあたり、どうしようもないなつてくる。勿論この問題は社会の責任ばかりではない。我々自身の弱さにもある。それ故、我々はこれを解決するように常に心掛けていなくてはならない。オートメーションの流れに足をすくわれて忘れてしまつては終りだ。

あたかも、原潜寄港がはじめのうちは、新聞の才一面にクローズ・アップされ、デモなども激しかつたが、二回、三回、四回と常習になるにつれて、コラムも小さくなり、ついに、消えてしまふようでは駄目だ。ふざけてゐるようであるが、一の九の担任の岡先生が一時坊主頭になられて、生徒の興味を引かれたがまもなく先生の毛が伸びるに従つて「なぜ？」というのもなく「いづれ話そう」という約束も忘れられたようである。飛躍するようだが、我々は常に何事にも疑問を抱き、それを解くよう心掛けていなくてはならない。疑問を抱くことによつてマンネリズムに陥りやすい我々の存在を確證し成長させていく事ができるのだ。

次に友人の事であるが、私は大手前に入る前に、ある大手前の先輩から「大手前に入つて親友を作ろうとしても駄目だ。だが本当に求めるならクラブに入るがいい。」と教へてくれたのを覚えてゐる。はじめのうちはそうでもなかったが、近頃はこの感が強い。激しい競争のため、それがゆがめられてゐるようだ。

大抵の人は、中学以来の友達関係を維持しようとしてゐる。しかし、本当に親友を求めるならクラブに入るがいいといふのは全く同感である。現在私も硬庭に属してゐるが、そこには一緒に練習してゐるうちに、クラスでは味方えない人間関係を満足感がある。時には今まで発見できなかった自分を発見しハツとすることも。先輩もいいし、同輩もいい、夏休みの強化練習の時の事であるが、一日の苦しい練習を終えて夕暮の山道を皆と一緒にそぞろ歩いて帰ろうとしている時、何ともいえない温かいものを誰かれとなく感じた事を覚えてゐる。

各人は適当に妥協し我をひつこめと寛容になることが必要だ。自分の我をかたくなにすれば、当然他人のそれもすなおに受け入れられない。土台、人は、己自身だけでは生きていられない事はわかつてゐる筈だが、人は一人だけでは孤独を感じない。孤独は多勢の中にいてはじめて感じるものだ。そこには他人への妥協がある。これこそ人が一人ではいられない証である。クラスのある人は「親友は

欲しいが、あり得ない。結局は孤独だ」といつていた。これも正しいと思う。それでは、先の「人間は一人ではいけない」というのと反すると思われれば否定できない。だが事実この「人は一人ではいけない」「結局は、孤独だ」という命題は共に私の心の中に、はつきり存在し、又けんかをしない。それは、前者は、主に物質的なもので、後者は、精神的なもの、それも境界より上のもので、この境界は人によつて高さが異なる。我々は、ある人だけに自分のすべてを打明けすることはできない。神と自分を除くのは、そうだが、結局は自分だ。自分ほど己を知つてゐるものはなく、ほとんど時間のへだたりもない。しかし、人は現在の自分の生命力の最先端が善の方へ向いてゐるのか悪の方向なのかわからないとき、自分に自信がなくなつた時、連う次元の目を求めて、友人ができ、又自分の倫理性から理想のものを作りだし、即ち神なるものを頭上において、二面から自分を守つてもう一方にする。しかしながらやはり、友人を選ぶのも神なるものを思うのも自分が基をなしている。私が「人は一人ではいけない」を正しいと思ひ、又「結局は孤独だ」ということを正しいと思ひ、このためである。つまり、自分を理解してくれないからといって人を避けるべきではないのである。それより以上は己に帰し、後は絶対者の意志をまつのみである。では友人とは何か、それは理想化した自分の分身でそれ以外はない。

えない。我々は、自分の理想化された人々である。それは、合体したくなる。良いものに合体したくなるのは、人間の性質であり、人間が人間たる所以である、友人を作るのが難しいのは自分だけが相手をするべきだと思ひばかりでなく相手も自分をその理想像としてみなければいけないからである。簡単に言えば、自分の短所と長所が相手の長所と短所とよく組み合わせ、ちょうどボルトの山と谷がナットの谷と山と組み合わせ、よくはくはく付合えなやがある人をするべきだと思つても何となくく付合えない場合があるのは、この山と谷がうまく組み合わせられないからで、チエーンが空まわりしてゐる如きだ。恋愛や友情は、それが一方的であれば成り立たないのは、ここにむつかしさと宿命がある。だから、人は気が合うから友人同士なのだと言ふが、それは、性質が似てゐるから、そうなのだといふよりむしろ反対で、性質が相反するからこそ友達だといふべきだ。私は時々、自分と同じ欠点を他人の中にみる時何ともいえない憎悪をその人に対して覚えることがある。それが私に似れば似るほど激しくなつてくる。だがその正体は実は、憎まれる人への気の毒だが、自己嫌惡の一つであり、その人は、取りも直さず、許し難い過去の自分の姿なのだ。友情は、気取つてゐては育たない。いつも自分のいい所ばかり見せてゐてはいけない。後になつて必

ず、もしもその時、たんに彼が生ずる。もし本当に友人付合

自治会の現状・その対策

自治会会長 渡辺泰孝

自治会が存在する価値それは、一種の教育である。極端に述べれば社会に出るための練習である。高校に於ける自治の範囲それについて考えるべき数多くの問題がある。

しかし、現在の我が校の自治会に於いてそんな事を論ずる以前に再考しなければならぬ問題はないであらうか。会員の自治会員であるという自覚、それをどう育てていくのか。それが当面の問題ではないであらうか。

過半数以上の会員が現在の自治会に対し、何らの興味をも

起してはいないのではないか。それだけではなく逆に不信感さえ持つてゐるのではないのか。しかし彼らはその不信感を除こうとしない。雪国に育つた人でなければわからないかも知れないが、屋根に積つた雪、これを除くには大きな努力が必要である。しかし自分からこれを除こうとしないとは結局家の破滅を招く。自治会の屋根の積つた不信感、これをいかにして除くのか又除こうとすれば良いのか。そして除いた後どうしていくべきなのか。それが最大の問題ではないか。その解決策は何か。大きな問題である。しかし僕は次の二つの方法が有効だと信ずる。

オ一、自治会活動の活発化

一般会員が自治活動に参加し、その計画、企画を自分達の手で行なえるようにすること、そのためにも、出来るだけ会員の手に、仕事をゆずること。本部役員だけ、から回りしていてもだめである。会員一人一人が何らかの自治活動に参加しているという感覚が出た時、その時が自覚の芽ばえである。何もむずかしい事ではない。例えば厚生委員を例にあげよう。彼らの任務は何か。今までの厚生委員の仕事は募金と花くばりだけではなかつたか。

彼らは、例えば大手前病の近視についての対策を考え実状を把握しているのだろうか。近視の増加率、その原因、予防について積極的に資料を集めその結果彼らの予防策を実験するまでに至るべきではないか。

そのような活動をするには多数の人材と、保健科の先生との連絡、時間、勉強が必要であらう。そのような活動をしていくべきではないか。何もこれは近視のみではないのである、各部にでも種々の問題はあらずである。

オ二に本部は一般会員の意志を正確につかむこと。会員の意志を生かせないような本部ではダメだ。又本部の動きを知らないようでは一般会員の存在は無意味である。つまり、もつと本部と会員との密接化を図るべきである。

投票箱を設置しても一件しか投票がないようではダメだ。もつと会員は自分の希望、意志を出すべきである。会務報告の時に過去に於ける失敗点を攻撃するだけではナンセンスである。間違がつてゐる時には、すぐその時に助言、勧告を与えて、本部役員に再考をうながすべきである。

又本部役員も投票箱を設置したのだからもういいのだ。会員の投票がないということは、彼らは現在の本部に満足しているのだと思わず、もつと他の方法を講じるべきである。本来ならそんなことまでしなくてもいいであらうが、現状ではそれをしなくてはならないであらう。この二つの点を立派に守つていつてこそ自治会の再建となるのであらう。

本部と代表会議

現在のような代表会議はくだらない。形式上の問題点をさぐり出し本部を攻撃して喜んでゐる。形式的な行動をす

ばかり望んでいつもナンセンスである。

自治会員としての態度

よくある人は自治会の要望が学校側に認められたら、闘争に勝つたなんて考へてゐる者がいるが、そんな考へ方はまちがつてゐるのは明白であらう。自治会と学校とは本来対立するべきものではなく協力し合つて、進むべきである。又、何らかの要求を出した時、先生方に「我々を信頼してください。信頼のない教育なんて無意味である」とよく言います。まさしくその通りです。しかし、その前に我々は先生をもつと信頼しうてはありませんか。互いの立場を話し合いによつて知り合い、学校生活をよくする努力をして行かうてはありませんか。

まい。

以上三つ述べた事が再建への道となるのではないか。

では自治会の役割は何か。それは学校生活の福祉、向上、改善であるべきである。生徒心得を厳守するよりに活動するのでも正しい道である。文化部では色々な文化的行事（例えば映画の会・レコードコンサート）を行ない、一般会員に参加を求める。庶務部では、生徒の風紀問題……生徒心得を守る運動又改善への行動を起こすべきである。自分達の守るべき問題に關して自分達で責任をもつて守つて行く。それが自治ではないのか。それをせず、自治の範囲の拡大



出席して

田中善章

出席校

旭	高	校
市	岡	校
淀	川	工業高 校
鶴	見	商業高 校
太	手	前高 校

次に各校の生徒のようすについての意見の交換があつた。途中からではあるが、本題にもどつたところで会話を載せる。

先祖
生 A

ふりになろうと努力しないから
だと思ふ。しかし一方すなおに
みんな物事に順応してくれるし、
そしてまた、討論会などでの場
合だがみんな真剣になつて考え

先旭
生 B

先祖
生C

司會

鶴見

女子が多いのでいろいろな活動がしにくいようだ。また利己的でリーダーになりたがらないようです。

前大
手

自治会誌をつくるために校外フ
ンケートをとつたがそこに「大
手前生はこわい」と書いてあつ
た。けれどもそんなことはない。
たぶん勉強についてであると思
うが、クラブも割合活発である
し決して勉強のかたまりのコチ
コチではないと思う。また男女
交際に関しても清潔な感じがす
るしい調子だ。

クラブは活発だ。そして先生と生徒との関係であるが、全くの自由で間に障害らしき物はみあたらないと思う。相当つつこんだ話し合いもできるし。それから男女交際に関してであるがみんな非常な熱意をもつて考えている。

旭 先生に質問。先生という職業感
を述べて下さい。

先生 いいね。才一誇りをもつて教育
するという事にね、それに私は

又その人氣があつて文化祭など
異様なふん囲氣をかもして
いたみたいだ。

いたみたいだ。

生徒会は現在活発であるが、だんだん衰えて来ている。それとともに各クラブの行動も低下してきてます。それにもう一つホームルームの不活発化もめだつて来ているようです。

旭

又学校生活問題に戻りますが、近頃話題になつてゐるエレキやモンキについてみんなどう考へていますか。

淀工

司会 各校に質問あればどうぞ
旭 本校には歌のつどいのよ

旭

本校には歌のつどいのような娯楽的な会合があるんですけれど、他校のそういう事の状態を聞きたいんですけれど。

鶴見

それは盛んだ。また投書でそういう要求がたくさん出ていたようです。

大手

大手前はエレキは大変さかんだ文化祭・自治会祭にテケテケテケテケ。

旋工

本校も盛んで、かなり楽しい。

全て書きたいがページ数が足りないの
で省かせてもらおう。結局その日一番話
題にのぼったのは「高校生の自覚と自
主性」の問題だった。

こういう意見もあった。「そんな物は
かくれみのだ」(淀工)ときびしい言
葉である。みんなにこういう事は真剣
になつて考えてもらいたい事のつた。
ここに書いた事を讀むだけでは終わら
ず実際に自分で考えてほしいと思う。
「自主性」、それは完全な人間となる
一つの方法ではないだろうか。

全出席者約八十名

大手前出席者

田中 善章
林 以知郎
吉本 修一
広田 賢三
田口 正博



「去年の文化祭」 アンケートより

そんなアンケートをとつたかなと忘
れてしまわれたかも知れませんが、自
治会文化部では、11月15日に「文化祭
によせて」と題して文化祭の意義や、
在り方について集計しました。

その結果をこの紙上を借りて皆さんに
お知らせします。ここでは、一部も修
正せずに皆さんの意見を載せます。

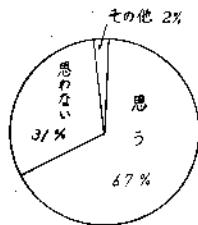
先ずオ一に一番多かったものとして
は「文化祭はみんながその日一日でも
楽しく暮せれば、お祭り騒ぎでも、
娯楽的なものであつてもよいでは
ないか。現に「文化祭」という言葉に
は「祭り」という字があるではないか。
次にクラス参加についての意見とし
ては「クラス参加は大賛成である。こ
れは文化系クラブに属していない人の
為の唯一の参加機関であつて又、我々
が自主的に得るチャンスである。

「たこ焼、お化け屋敷、がなぜ悪
いのだ。これらも庶民の文化だ。クラ
スのみんなが力を合わせ、一つの事を
成し遂げようとする事は意義のある事
だ。」この二つの意見はアンケートの
中の大多数を占めていたものです。次
々に列記していきますと、「本部はみ
んな固すぎて、理想、ユートピアを求
め過ぎてゐるのではないか。又それに
本部の方針や態度、基本的な考えを徹
底してほしい。」「文化祭に何か魅力
が欠けている、断片を次々追つてゐる
にすぎない。我々の興をさましてしま
う。例えば展示など、文字ばかりで読
む気もしない。」「これからは、クラ
ブ参加、クラス参加に加えて、個人参
加もあればよい。」少数の意見として
は「文化祭とはあくまで文化系クラブ
の発表の場であつてその事をよく考え
るべきだ。我々は皆、文化系クラブの
活動に関心をもち、熱心に鑑賞すべ
きだ。」以上いろいろの意見が出まし
たが、我々がここで改めて考えなけれ

ばならないことは、文化祭とは教師の
為のものでなくて、又本部だけのもの
でもない。要するに文化祭は我々のも
のでなくてはならない。
二日間をアツという間に過ごすか、学
生時代のよい思い出として残すかは、
我々にかかつてゐるのである。

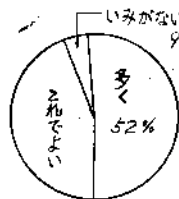
数字から見て

① こんどの文化祭は自治会祭と区
別される「文化」という名に恥じな
い文化祭であつたと思ひますか、と
いう問に対し「あつたと思う」と答
えた人が67%、「なかつた」と答え
た人が31%。その理由としてはマン
ネリ化の傾向が強いということとし



た。また「「文化」という
名にあまりこ
だわりすぎる
な」という意
見もありまし
た。

② クラス参加を大いにアピールし舞
台行事を盛大に実施したつもりだが
それを結果的に見てどう思ひますか
という問に対し「クラス参加を多く
すべきだ」という意見が多くそれに
ついて「このま
までよい」とい
う意見で「意味
がなかつた」と
いう意見もあり
ました。



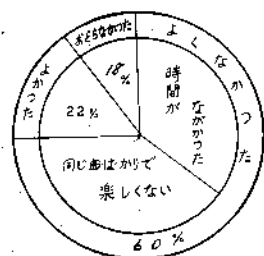
③ いろいろな事は別として面白か
つたか面白くなかつたか。
面白かつた71%、面白くなかつた29%、面白くなかつた理由としては、「型にはまりすぎ」「自治会のやり方がだめ」「興味を引くものなし」などがありました。面白かつた理由としては書いてゐる人がなく、つまり理由なしに面白かつたのでありましよう。

おもしろかつた77%
23%

④ 行事進行についての文句、いい分
3日の展示では「文字が多く読むの
がめんどろだ」という意見と、専門
的で理解困難という意見がかなり多
く、また「時間がありすぎてたいく
つであつた」という人もありました。
4日の厚生会館行事では「良かった
」と答えた人が大部分で少数の意見
に「幕間が長い」「コーラスが多
すぎた」「もつと内容を豊富に」など
がありました。

つまらない 64%
よい 36%

⑤ 3日のフオークダンスについて
「集合の方法が不徹底」「時間が長
すぎる」「同じ曲ばかりで楽しくな



い」などの意見が多く「よかつた」と答えた人はわりあいいませんでした。なぜだろう。

⑧ その他全般について気付いた事、希望など来年そして以後の文化祭実施に關しての事柄意見、
「もつとみんなが協力したら良い」
「鑑賞態度が悪い」「時間の配置をスムーズに」「文化祭のテーマを始めて決める」「エレキのフニキ異常」「バザーをやつてほしい」「来年も厚生会館で」という意見がありました。

学校行事予定

(総て予定)

- | | |
|-----------|--|
| 4 / 13・14 | クラブ紹介
新一年がはじめてそのケツサクなヤジに驚く日
約毎月一回金曜日
生徒総会 |
| 5 / 1 | 創立記念日
出るのは義務です……。 |
| 6 / 12 | 北野交歓試合
北野の食堂のきれいな事 |
| 6 / 19 | 自治会祭
仮装行列、フアイヤー等。
オモロイ日。 |
| 7 / 12・16 | 水泳訓練(校外)
学校のプールのそのキタナサが脳天にキーと来る日。 |
| 8 / 2・6 | 登山・臨海学会
希望者だけ。どうぞ行つて下さい。 |
| 9 / 10・11 | 校内水泳大会 |
| 9 / 18 | 夕陽ヶ丘定期戦
相手は強敵だ。大手前は狂的だ。 |
| 9 / 20 | コーラス大会
口をバクバクあける日 |
| 10 / 3 | 運動会
やぐらを組んでマンガ描いて、そして遊ぶ。太陽がいつばい、ほこりがいつばい。 |
| 11 / 3・4 | 文化祭
この日に勉強する奴がいる。シェーな奴もいるもんだ。そんなのバカダヨーン。 |
| 2 / 5 | 予 銭 会
称して「三年気ゲンよう追出し会」という。 |
| 3 / 8・12 | 野沢スキー
不思議な事に学校に生徒が現れない日。 |



文化祭反省

YOSHIAKI. TANAKA

アンケートの結果は別の所で、お知らせするが、ここでは文化部長としての反省記を書く。

今回は文化祭という本質的な意義が明確に表われてなかつたとして、後に相当な

特に講堂のエレキ、落語なんかはすごい人気であつた。

それからクラブ展示。これも各クラブの方々が一生懸命やつて下さつたお陰で予想どおりの反響ではなかつたかと思ふ。

二日目、厚生会館においてである。会場が非常に良かったせいか、評判もよかつた。去年までの会場といえ、一年は知らないだろうが、椅子からスプリングがはみだしていたのである。

クラブの講演も順調にすすみ、足らないと思つていた時間があるくらいになつた。そして紙飛行機なども飛ばなかつたし、あのように進行状態が非常に良かったのである。今年も厚生会館を借りることができればいいと思うのだが、照明、マイク、舞台ともに最高であつた。次の文化祭文化部長になる方には、そう言つておきたいと思う。

話題はやつてここで一つ言いたい事がある。というのは中にこういう人達

が在るという事実だ。勿論毎年の事ではあるが、家へ帰つて勉強したり、または映画なんかへ行つたりする人が、または一年に二日しかないこの祭典を自分達で放棄するんだから世話ないと思うけど、やはりこれは僕達で作る僕達自身の文化祭だ。勿論魅力がないかもしれないという事が原因かも知れないけれど、その魅力を作つていくのが僕達自身の義務であり責任であり、また唯一の権利なのじゃないかと思う。それもしないで逃げて行くのはおかしい事だ。そういう人達には僕は訴えたい。自分の権利を捨てるのは何よりも尊いものを捨てるのと同じだということ。オシマイ。

反省を必要とした。ぼく自身まだ一年であつたため、わからない事も多々あり困つたが、ベストは尽したつもりだ。才一日目であるが、クラス参加、あの三年現代芸術展覧に關しては、多数の方々に迷惑をかけてしまつた。あやまります。それからこのクラス参加については相当な批判が起きたが、僕自身としては失敗とは思わない。来年には今年の失敗点だけを取り除いて再度実施してもらいたいものである。

講堂の舞台行事とフォークダンス。これは八割どおり成功したと思つている。



クラブ紹介

文化系クラブ

音楽部

- ① 全くへんなくらぶ
- ② 女の子の多いくらぶ
- ③ MMKのあつまるくらぶ

本当にそうなんです。しかしなんと
いつても、一番の特色は、みんなが楽
しんでクラブをやっているということ
です。大勢いる部員の中には、そうと
うのオンチの人もいます。だから、み
なさんも気になさらずにどうぞお気か
るに入学して下さい。(ゴメンネ!!)
ですから下手な人でも上手な人でも、
歌をうたうのが好きな人はだれでもけ
つこう。だけど、遊び半分の人ばかり
です。やっぱりやる気のある人で、

責任感のある人を望みます。是非一度
音楽室か部室へ来てみて下さい。いつ
でも歌声が聞えてきます。

“くちびるに歌を持って”これがわが音
楽部のモットーです。去年の活動は今
までにない活発なものでした。その中
でも四年ぶりにコンクールにパスした
事と、文化祭で合唱組曲“山に祈る”
(30分)の大曲を演奏して大成功に終
つたことは、今でも我々部員の胸底に
炎となつてもえています。

年間の主な行事を次にのべます。

四月 新入生歓迎会 六月 自治会祭
七・八月 夏期特別練習 十月 全日
本学生音楽コンクール 十一月 文化
祭 大阪府下高校生連合音楽会 十二
月 OMCのつどい 二月 予餞会、
他にコーラス大会で審査及び基準演奏
etoをします。練習日は火・水・木(3
：30～4：50)で月一回レコードコン
サートを開きます。

部員数は全員で37名 二年21名 三
年16名、男子13名 女子24名という状

態です。去年のコンクールには、40余
名で参加しました。しかし今年は、ぜ
ひ70名余りで参加してみたいと思つて
います。

入部したい方は昼休みあるいは放課
後三階の音楽室か音楽室のとなりのク
ラブ長屋で一番モダンで一番広く一番
美しく一番きれいな女の子のたむろし
ている部屋へ来て下さい。

注・タダシ オトコノコモタムロシ

タイムス

おわり

演劇部 ！わが部のためのPR！
可愛くて純情で誠実な新入生諸君に！
暗い北の空面に一条の光跡を残し、
せつなに生まれせつなに消えていく流
れ星。それ程短かい。否それよりもな
お短かい人間の一生において一体諸君
のこれからの三年間はどれだけの価値
を持つているであろうか。というよう
なことは、それにふさわしい人に任せ
ておいて、わが部の宣伝を始めること
にする。古くはピチカントロブスから

現在に至るまで人間は常に人をだます
技術を磨いてきた。小説とか映画とか
その類である。その中であつて常に伝
統的光彩を放ちつつ進歩したものが演
劇である。ゆえに演劇部は真面目な人
には向かない。その点に関しては諸君
は無試験で全員合格である。とりわけ
栄養の体内に満ち満ちている女性諸君
に入部を勧める。活動は精神的にも肉
体的にも適度の運動を与えやせ衰える
こと請けあいである。しかも部室には
自らその機能が備わっている。……
部室のことが出たついでに少し話して
おこう。有迷(?)なクラブ長屋の中
核に位置し一步部屋に足を踏み入れた
とたん一種異様な気持に襲われる。左
右の壁面は見事な抽象彫刻が施されて
あり部員の美術的文学的才能の発散場
所となつている。見張らしもよく校内
の見難い箇所がよく見える。素晴らしい
所である。新入部員は部費が免除され
新劇が無料で見られるという特権が与
えられるという話はまだ聞いていない

がとにかく美男美女ぞろい(例外の方
が多いが)の先輩達が一生懸命となり
方や煙草の吸い方、したくない時に笑
つたり泣いたりすること(これらは後
々の役に立つ)を教えるし少くも言葉
たくみに嘘をつく特殊技術だけは確実
に自分のものにできるはずである。

諸君に期待する！ 来たれ！

社会科学部

本部によるとクラブ紹介のスペースは、原稿用紙で
たつた一枚だそう。

バカを言うなといたい。社研はそんなかんたんな
ものではない。また、新入生や全く社研に関係のない
人に、社研を語るといふ事は、ぼくたちの過去を、
いわばトータルに、常時とは、少し位相的に異つた
地点から総括するということだ。そんなことがたつた
一枚のスペースでできるわけがない。

そこで、新入生に対する、クラブ紹介は、ぼくたち
の機関紙上で行うことにして、ここには本部から
「これだけは書いてほしい」と言われたことを書いて
おこう。

部 員	8人
部 室	本館3階クラブ長屋最奥
活 動 日	原則として週二回だが殆んど毎日
主な活動	部会、機関紙発行(年7～8回)
学 習 会	
討 論 会	
そ の 他	



ENGLISH SPEAKING SOCIETY (E. S. S.)

As the name shows, members of E. S. S. speak English on every club day.

Speak in English to each other.

We speak English when you speak Japanese.

You had learned English in Junior High School for three years. But you can't speak in English as well as in Japanese. You may not be able to speak in English. So, you must come to our club, if you want to speak, and you can speak it very well! like us.

E. S. S. may decide your future!!

* We have 30 members.

* You must pay 70 yen every month.

* We have three meetings a week, Tuesday,

* Thursday and Saturday.

* Of course, we have them after school.

ACTIVITY

You don't know Henry San, do you?

Henry San is a Germany and visits our school once a month. If you want to talk with him, you can attend the meeting freely.

Of course, you who are not a member of E. S. S. can attend, too. E. S. S. takes care of his meeting. And every year we have a English Oratorical Contest. We often go to Osaka Castle to talk with foreigners. We have many things else to do.

ATMOSPHERE ----- the feeling of E. S. S.

Mild!	Hard!	Gay!
Strict!	Fine!	Severe!
Best!	Enjoyable!	Need patience!
Interesting!	Terrible!	Instructive!
Horrible!	Famous!	Notorious!
Noted!	Tolerant!	Pleasant!
Noble!	Indispensable!	Wonderful!
Unspeakable!	The best in the world!!!	
Above-mentioned all combined!!!		

(Can you tell the meanings of these words?)

(Or go to your dictionary.) E. S. S.

弁論部

弁論とは何か。ひと口で言えば弁論とは自分の意見を多勢の人の前で発表することです。だから弁論をするには意見を持つ材料があり、そして意見を発表する自由な風潮が存在していることが必要です。けれども何と言つてもすべての人々が、すべての事に意見を持つ事をやめてしまつては、弁論はあらゆる一切の表現活動は無くなつてしまいます。つまり皆が世間一般の考えをそのまま受け入れるだけではなく、どんな考え方もつとも正しいものなのかを、いつも検討してみる態度と、それによつて得られた意見を発表する勇氣とを持たない所には弁論が発達する余地はないのです。そうです。弁論部は、自分の意見を大事にする人の集まりであることはもう言うまでもありません。

では弁論部には、今まで述べたものだけで充分かと言うと、当然そうではありません。私達がどんなに立派な意

見を発表しても意見を受け入れてくれる場がないことには、効果はありません。今の日本では次第にあらゆる面の民主化が進みつつある様ですが、他方反動的な面が目立つこともまたあります。それ故今後の弁論部は、表現活動の正当な意味での活発化の促進と反動化を防ぐことの二つであることを最後に述べて終わることにします。たくさんの方が入部されることを期待しています。

写真部

カメラを持つている人は、たくさんいますが現像や焼着をする人はあまりいないでしょう。写したあとは写真屋まかせ。というのは写真のおもしろさを知るには十分ではありません。現像、引伸しの作業はたいへんおもしろいものです。自分のフィルムを現像タンクから出して、像が写っているのを見た

時の心境は、一生を通じて忘れがたいものです。又、自分の力を思うまま

に引伸したり、縮めたりして印刷紙に焼く楽しさは、暗室作業をする人のみ味わえるものです。みなさんは失敗を心配されるようですが、きまりどおりすれば失敗はありません。

私たちの活動は、部室がないためになまりがちですが、カメラ一丁あれば部員としての基本的活動が出来るのでみんな、自分自分で活動しています。春の自治会祭と秋の文化祭に発表の機会があり、又、夏と春の休みには先輩と一緒に撮影会にも行きます。

部員数

十名

活動場所

物理研究室内暗室

地歴部

中庭に突き出た校舎の三階に地歴部の部室があります。まずその部屋内から案内しましょう。

部屋のドアに手を掛け、少し顔を上に向けると蕞股の模型が目につきます。これは、現在の活動の中心となつてい

ブよりも広い部室の中に多くの机が並んでいます。その机の上には多宝塔の模型がおかれ、周辺には先輩達が残して行つてくれた作品が並んでいます。文化祭の時に、地歴歴史展を開いて、これらの作品を展示しました。

部員は今の所少ないので新入部員大いに歓迎という所です。

部員こそ少ないけれど皆気軽に部屋に集り、冗談をとばしたりしてなかなか楽しい雰囲気です。

この辺で地歴部の活動内容をもう少し詳しく紹介しましょう。地歴部だと言ふ皆さんの中には恐らく歴史に関係のある事ばかりしているのだと思つている人もいられるかと思いますが、必ずしもそうではありません。例えば昨年度の活動であつた「新幹線」、本年度の「明日の大阪」などがあります。現在中心となつてゐるものは「墓股の研究」「建築細部の様式について」です。夏休みに奈良、京都、和歌山、兵庫、四国などの塔を見学に行き、普通

から、寒色系の冷めたい作品群を生み出した時に、おもわず脳裏をかすめたのはこのような不安だつた。一体、誰がこの空間をうずめてくれるのか？

大手前の美術部の過去のかやかし栄光は、今では年寄り連中の懐古談としてしか通用しない。激増する型のはまりきつた人間と、小市民的に現状の制度に甘んじた生活を送る人間達の入学によつて、ここ十年来、美術部の存在は暗闇の中に忘れ去られていた。

自称優秀校の大手前で、このような暗闇の中に新鮮な太陽光線を入れるのは、非常な努力が必要であつた。

僕達の学年と、その前後の期の人達との協力で、大手前が昨年の全大阪高校美術工芸展に於て、批評の先生方をして「驚異的な充実ぶりだ」と言わしめた時、僕は「どんなものだ！」と胸をはらずにはいられなかつた。威張れるだけのことはしたと思つてゐる。

具象画の多い他校の作品群の中で、抽象画の大作ばかりを並べた大手前は

ではとても見せてもらえないような所まで見せてもらえました。文化祭には機関紙の「いにしへ」を発売しました。又、地歴部の活動の一つとして欠かせないものに見学会があります。スモツグの大阪を離れて静かなお寺を見学に行き、おまけに小松素彦先生の丁ねいな（パンフレットよりもずっとくわしい）解説もプラスされています。又、我々部員にとつて心強いのはよき先輩がついてゐる事です。文化祭時にも手つだつて下さるし、困つた時には相談に乗つて下さり、時々差入れもして下さいます。

どんなクラブへ入ろうかと迷つてゐる人、そんなに迷ふことはありません。いますぐ地歴部へ入りなさい。そうすればきつと後悔しないで済むでしょう。

会場の中でひときわ目立つて特異な存在であつた。



この時、すでに三年生（今では卒業してしまつてゐるが）は活動から遠のいていたのであるから、僕達当時の二年生五人と一年生七人の細々とした活動だけで他校を圧倒したという事は、大手前美術部の水準の高さを明確に示したことになる。

夏休みの暑い最中、ベニヤ板二枚分の大作にペンキをぶつかけて、バーナーで燃やして描いた作品群の中で、僕は時折未来を思つては討論をした。「どうしよう？この調子じゃまた来年の入部者が少ないのではないだろうか？」

「それでもいいじゃないか。いやな連中を無理矢理入部させるより、描きたい者が入つてくるまで待つ方がいんじゃないのか。」

「いや、そんなことしたら、来年あたり、クラブがつぶれてしまふかもしれない。」

書道部

唯、字の練習をするクラブです。

月、木曜日に練習し、翌日に先生に見ていただきます。

文化祭などで作品をつくりませんが、主に自己の字をあらうために時間を費しています。

書を楽しまずとも、何気なく字の書けるように、今のうちに書を書いておかれるようお勧めします。

練習日 月、木曜日

部員数 十五名

部費 月、五十円

活動 書道教室

美術部

過去の汚物を僕達のおもいつきりの大声が追い出してしまつた現在、その飛翔してしまつた後の空間を誰がうずめるのか？

僕達の学年（現在の三年）が、大手前の紫色にくすんだ暗いアトリエの中

「要するに、大手前に入学してくる人間にろくな奴がおらんということだなあ。」

「バカだなあ、そんなこと言つてる君自身入学して来たんじゃないか。」

「エヘヘ、僕は特別なんだよ。」などという冗談の中でも、僕は部員獲得の方法を考えあつた。しかし、肝心なことは、僕達の描く絵をワカツテくれぬ人々のあまりに多いことだ。

僕は何か「前衛」きどりをしているのではない。又、部員に、アブストラクトを描け！等の強制をしたこともない。いつの間にか、絵についての討論と制作とのあいだに、大手前ムードとも言われるべき、黒と白との独得の作風の抽象画が生まれて来たのだ。

そして、このような作品（大部分は百二十号、ベニヤ板一枚半）を見て、多くの人達はボカンとしている。少数の人達だけが、充実してゐるね！等の賛辞をくれたり、「こりやあ、大学並だ。」等の励ましの言葉をくれたりした。

今の二年生の部員に言わせると、僕達三年生の部員は、個性の強すぎる者の集団だそうだが、五人が五人共、さまざまな人生感を持ち、各々、独特の画風を身につけていることだけは確かだ。

七人の二年生達(男二人、女五人)も、赤と白と黒のペンキしか使わぬ変人や、何を考えているのかわからぬオツカナイ女子や、ゴミタメみたいな絵を画いた女流画家の集団であり、僕達に負けず劣らずヘンナ人達である。

いずれにしても、この十二人でやつと大手前美術部の過去の汚物を追い出した今、待たれているのは新しい熱心な人材であり、激しい闘志の持ち主である。

“変人募集”等と言うと笑われるかも知れないが、変った人、天才だと思っている人、俗人になるのがイヤな人、絵がメチャクチャにヘタな人を大歓迎する。

今まで学校で習った絵についての考

え方を破壊し、独自の画風を作り上げるのだ。どのような実験も、僕達のクラブでは異端視しない。

大手前の他の文化系クラブによくあるような、楽しいばかりで実のないクラブにだけはしたくないものだ。新しい一年生の入学と共に、二年生に主導権が渡されてもこのような伝統だけは守つてゆきたい。伝統は僕達が作りあげたのだから。

討論の中から、制作中のあいまから大手前をゆるがすような人材が、否、世界中をひきまわすような人材が生み出されるようなクラブにするべきだ。この文の冒頭の疑問には、一年生の人達によつて“私達が”と答えられねばならない。

それを期待している。



力になるところが、真の親友である家庭の問題、勉強の問題、片恋の問題、みんな究極のつきつめたところにくくと、それは、混沌とした自分だけの世界である。相談もくそもない、ただ、そばにいる友が、その友がそばにいるというだけで、自分が不安じゃなくなる。

不安がおさまらなくても、つねにそばにいてくれる人は大事である。趣味を同じゅうし、ある程度、胸襟を開くクラブ。あのちつちやな部屋、頼りない部長、生意気な部員、それは我々学生だけに許された楽園ではないだろうか。そんなすばらしいクラブのうちの

NO.1

文芸部にはいるべきである。

生物部

生物の分野は今日では、電子顕微鏡等の使用によつて、大変進歩しつつあり、色々な事実が解明されています。そのような詳しいところまで行かなく

文芸部

文芸部は、文学を好む者たちの集まりである。かといつて、みんながみんな、たくさん本を読んでいる文学少年や少女ではない。いくら本を読んでもそれが彼自身、あるいは彼女自身の血となり肉となるとは限っていない。消化しやすいようにする器官の一つにクラブというものがあるのではないだろうか。

実際私は今まで、本を読んでいるといつても、重きを置いてみることで、きない人にも会つたし、また、正反對の人にも会っている。でも、みんな自分自身では、自分を重要なものとして見ているはずである。のみならず、他人の目にうつるとき、軽んぜらるというよりは、甚だ遺憾である。

私は、そうなる原因は、心の幅にあるのではないかと思う。

私は、クラブとは重要なものであると思う。一年、二年とクラブを続けた先輩たち。結局、いろんな外的条件に

でも、私達は高校生としての責任をより充実した活動を行ないたいと思つていきます。

活動時間は、相手が生き物ですから一応毎日になつていますが、研究にきつつかえのないかぎり自由です。

活動方針は、研究のテーマを一つに絞ることはやめて、各自の意志に任せています。

それで活動内容も、遺伝の統計学的研究、再生実験、細菌培養、植物ホルモン、飼育、栽培、その他多種多様にわたっています。

又、夏季合宿、野外での採集会等が、恒例となつていきます。

なお、

部費は、一ヶ月五〇円

部員数 十六名

活動場所 部室、中庭、裏庭

大阪城、その他大阪近郊。

理 研 部

自然の客観的認識を目的とする私達理研部員は、煩しい世間から逃避したのでなければ、企業のおかえ学者の卵でもありません。個人的な目的のために、つまりは人類全体のために、自然を客観的、具体的に把握し、全宇宙の真理・法則を解明しようと志さすもの集りです。私達は、自然科学が（いつの時代でもと言うのではありませんが）人間の幸福に果たす役割は非常に大きいことを確信しています。ですから、自然科学の他の分野を占める「生物部」や、一つの科学である社会科学のクラブとの交流がないのは残念なことだと言わなければなりません。これは新一、二年生の力に期待するところが多いのです。

理研は現在、化学、物理、天文の班に分かれています。その区別は厳然としたものではなく、どの活動にも参加できますし、新しい班の必要があれば一人でも作れます。去年に行われた

主な成果は、定性分析、太陽炉、水波

投影、プラネタリウムや天体観測、インク製造からガラス細工にまで及んでいます。生駒山天文台にも行きました。また、自然に親しむ機会の多いことも理研部の楽しみの一つです。四季の空に輝く星を寒さに凍えながら、あるいは涼しさに気持ちよく、眠い目をこすって見たり、流星を数えたり、土星の輪に感激したりするのは全く素晴らしいことです。

私達は新一、二年生が理研に入るのを大いに歓迎します。しかしクラブを受験生活の気分転換や、暇つぶしのつもりで入部する人は、かたく断ります。理研にはさして伝統などありませんが強い伝統と言え、昔から伝統にとらわれないで、各自の目指す活動を自由にやってきたことと言えましょう。充実した高校生活を送るべく熱意に燃えている人には、入部することを勧めたいと思います。

つ う け ん

ハムの寄り集りである。ハムは俗に無縁家とか無銭家と言われる。百Vに感電しても死なないとか、三百Vに感電したことが四・五回あると言うようなつわ者でも金には縁のない事が多い。だが、我々は、そんな困難をものともせず、がんばっている。そんなかいもあつて、もう少しのところで、**ハム**（朝鮮）とか、**ロロ**（フライピン）とかと、交信できるまでにこぎつけたのだが、英語の勉強が少し足らなかつたばかりに、失敗に終つた。

このように海外とよくやるが、普通は大阪付近の局とラグチユアーに花をさかせている。

ハムのOM（先パイ）には顔は悪いが、気はやさしくて、教養豊かという人が多い。こんな人と話をしていると顔が悪くなるというへい害もあるが、教養が豊かになる。みんなハムになる。足が短くてもなれる。高い所へ登りたがる人などは非常に有望（アンテ

ナを張る時）。恋人のない人でも結ぶ。なお4月まで入部された方には特典として「上手な感電の仕方」を実地にお教える。

K P A 記

運動系クラブ

女子バスケット部

新一年生の皆さん、御入学おめでとう。あなた方は、今、これから三年間をより楽しく、より有意義にすごそうと、期待に胸をふくらませておられることでしょう。しかしそれもつかの間うっかりしていると、あなた方は、毎日勉強に追われ、つい勉強一辺倒の無味乾燥な生活を送ってしまうことになりがちです。そんな生活からの救いになるのがクラブ活動であることは言うまでもありません。そして、

またクラブ活動なら運動系・運動系なら女子バスケット部が最良であること

は言うまでもありません。現在、我部は一・二年あわせて部員十三名。毎週月・水・金（あるいは土）曜日の三日間、放課後、下校時刻までのわずかな時間を最大限に活用し、練習に精進しています。夏休み、冬休み、春休みには強化訓練を行います。活動場所は体育館です。また特筆すべき事は、我部は非常によき先輩に恵まれていることです。コーチとして練習日には必ず来て下さる先輩を中心として、多くの先輩が、我々の練習を見に来て、よき助言を与えて下さいます。

さあ、皆さん、

女子バスケット部に入りましょう。我々は皆さん方の入部を心からお待ちしています。

なお、部費は毎月五十円です。

登山部 スキー班

現勢力は一年四名、二年十一名、三年二名で、練習は火木土。大阪では雪

がないので合宿で大きな成果をあげるために基礎的な練習を中心としてスタミナ作りをする。大きな行事はスキー合宿と大会で合宿にはOB、OGのテング連も参加。合宿の成果は一月にある神鍋での高校生大会でわかる訳です。白一面の銀世界の上に遠く山々が霞んで見えるのは堪えられませんか。

さあ銀世界へ出かけよう。

では Ski haiti !

軟式テニス部

午後の日ざしの下、テニスコートでは、真白な体操服の学生が歓声をあげ元気一杯テニスをしています。六時限終了のかすかな疲労感を汗に流してしまえる。何と素晴らしい光景でしょう。皆さんもそうありたいと思うでしょう。軟式テニス部はそれを満たしてくれるのです。夏ともなれば赤土のコートと白線、それに中庭の緑の木々、そして青空が何とも言えない美しさを示して

くれます。

軟庭では、何も運動神経の発達した体力のある人が入部するのを希望しているのではありません。まじめに元氣よく又、クラブに参加してくれる人、軟式テニス部はそんな人の集まりなのです。よい先輩よい仲間恵まれて充実した高校生活を送りましょう。

バスケット部

この学校のクラブに入ると、誰でも一年たつと、入つてよかつたなと思う。というのは二年生が三年になり、クラブをやめ、新しく一年が二年になり、クラブでは最高学年になる。自分で部を運営してゆけるようになる。自分達のユニホームの色や形を決めることができるようになる。自分たちが決めたユニホームでプレーする、何んとすばらしいことでありませんか。この感じは一年生から入っていないとわかりません。一年のいわゆる苦しい下積みを経て始めて感じるものです。そ

うだからといって、一年の時の練習がきつというわけではありません。

人は体づくりの為といって運動系クラブに入られるが、もし入るのなら、それだけでなく、クラブの為に何かしようとか、選手になつてやろうという気構えで入つてほしいと思う。

今まで、全クラブに当てはまるような難しい事を言つて来たが、本当のところバスケットの選手になると、カツコイイし女子にももてます。だから皆さん一度、バスケットの練習風景を見て下さい。

柔道部

練習は月、火、木、土、金は自由練習。平日の練習時間は3時半から5時まで。土曜日は警察学校の加藤先生が来て指導して下さいます。

現在部員数は1年生10名(初段2名)2年生15名(初段10名)、3年生は練習していません。活動場所は我校の道場。

私たちはオースドソックスな柔道を目指しています。巻き込み技、引き分けの方法などは練習しません。

又、一部の私立高校のようにあまり激しい練習もしません。放課後の道場に来てみなさい。時にはなまやかし過ぎると思われるぐらい、なごやかに、しかしまじめに練習している私たちを見ることができでしょう。道場は明るい空気がいっぱい、部内のいさかいなどは見たくても見ることはできないでしょう。だから「しごき」というものなどは私たちには想像すらできません。

卓球部	
土	木
水	火
日	月
活動場所	活動場所
部員数	男子
男女	女子
11人	9人

スです。舞踊です。「動」への喜び、楽しみを感じたい方、ぜひ御入部下さい。

剣道部

部員 15名

練習日 月火木(放課後一時間半)
土(放課後二時間半)

剣道つて知ってるかい?

頭をよくなるスポーツだよ
自己の能力を知る
最良のクラブさ!



そのために大手前柔道はおとなしすぎるというくらいがあり、事実きたない柔道に負けたこともあります。私たちは私たちの柔道をしてきました。そして或る程度成果が上がってきています。練習試合では北野、清水谷、京阪、旭と連破しています。公式戦は、最低一回戦は必ず勝つという伝統があります。

1月23日の新人戦では、2回戦にその日の優勝校である浪商と争つて、よく健闘しました。

硬式野球部

練習 日曜除く毎日

部員 9人

場所 運動場

夏の全国大会を一年のしめくくりとして練習。したがって、一学期の練習は試合の消化を重点的にし試合感度胸内外野の連系を養成する。

二年 六年 二年が六人いること
一年 三年 は本日当り期待して

ダンス部

最後に、今チームの目標は「優勝」の一文字である。

もらつてよいと思うが反面一年が少ないため、新一年の大量入部を希望する。全国大会が終れば二年は退部するので新一年は遅くとも秋にはレギュラーになることができる。

※文中 二年とは現在の二年

一年とは現在の一年
新一年は新入生をさす

あふれる感情を全身であらわすには、ダンス部が最適です。日常の身のこなしが優雅になり、たとえスマートでなくとも均整のとれたからだを作ります。さて、昨年は人数も少なく、決してクラブらしい活動はしていませんでした。しかし、我々クラブ員一同は、一心同体となつてクラブ向上をめざして突進していきたいと思います。また、つけ加えておきますが、本クラブの内容は社交ダンスではありません。創作ダン

にコーチしていただいていますし、年に2回、男子バレー部と合同で、OBの方達とバスを借り切つて楽しいツアーをしたり、なつかしい学校のコートでユーモアたっぷりのプレーを見せていただいたり、恒例の福引きをしたりします。初めてお会いした方でも昔バレー部におられたというだけで話はずみません。これらのOBの方が皆、我々現役部員を暖かく、見守つてくださつてゐるということを感じるだけで、バレー部に入つて良かったと思うのです。また現役とOBが一緒になつて「大手前クラブ」という名で社会人の試合などにも出ます。ほんとうに我々と先輩との関係はすばらしいものです。とにかく、女子バレー部は、すばらしいクラブです。孤独な人、寂しい人、みな入つて下さい。スポーツを通じて学生生活を楽しく潤いのあるものにしましょう。そして、今年こそはあなた達の手で、技術面でもすばらしいクラブにして下さい。練習は、月・火・木・土の4日間、そのうちの半分は体育館で練習しています。1番がビュラーで、手軽なバレーボールにもつと親しみましょう！

※ 山岳班女子
班員 一年四名 二年四名
三年八名
練習日 月・木・土
場所・活動状況は男子に準ず

毎月一回位クラブでの山行を行います。年間の最大行事は夏山合宿。一週間位おもに北アルプスの山々に登る。夕陽に赤く輝く峰々を見ながら歩く時、それは幻想の世界だ。又たまには女子班と一緒にハイキングもやる。優しい先輩が新入生を待つてゐるジョー！

※ 山岳班男子
一年生四名 二年生五名
三年生五名
練習日 火・木・土
場所 物理教室と大阪城
トレーニングランニングと補強

登山部の女子というと、ゴツイのばかりが揃つてゐる様に思ふかもしれないが、決してそうではなく、美女ばかりだ！ 又、文字通り、同じ釜の飯を食べてゐるのだから、和気あいあいとしており、恒例の夏山登山を目標に、みんなで頑張つてゐる。
ウェルカム新一年！



軟式野球部

大阪府には現在40校ほどが軟式野球部を持っています。本校はその中堅クラスにあたっています。

大手前に入つて、勉強をよくして運動もやりたいという人には最適だと思います。練習日は、ソフト部と一日おきで、週3日、夏休みに10日ほど強化練習をします。このクラブのモットーはみんなで楽しむということであり、常に全員で研究、努力しています。ですから練習は厳しくありません。現在の部員が18名ほどですが、新学期になると3年生がやめるので、新入生の入部に大いに期待しています。野球をして楽しもうという人はほとんど入部されることを期待いたします。

女子バレーボール部

今やバレーボールは日本のお家芸として世界のトップレベルを誇っています。特にオリンピックでの女子バレーボールチームの活躍には、めざましいものがありました。日本中の人がテレビの中継に熱中し、自分もコートの中で、白球を追つてゐるかの様な気持ちになつたに違いありません。そして恐らく自分もバレーボールをしてみたいと思つた人がたくさんいたことでしょう。しかしそれだからと言つて実際にバレー部へ入つて望み通りボールを手にした人が果してどれだけいたでしょうか。現在の公立高校のバレー部では、どこでも部員不足で四苦八苦してゐるのが現状です。我大手前高校においても全くの苦境に陥つてゐます。現在の部員数は3年を除いて2年が4名、1年が9名の計13名。6人制バレーボールの試合においても、まだ入つて日の浅い1年に出てもらわなければならないのです。この様な状態ですから、我女子バレー部は技術面では全くお粗末なのですが、その反面、精神面ではどのクラブにも負けない確固たるものを持っています。少ない人数でどうにか立派にやつていこうとお互いに寄り添ひ、助け合つてゐる私達は、教室ではどう也得ることのできないなにか「を知らず知らずのうちに身につけてゐるのです。1人が脱落しかければ皆で取り巻いて話し合います。クラブがいやになつた人はクラブ日誌にその気持ちをぶちまければ、また日誌の中で他の友達がそれに答えてくれます。技術の批評は勿論、口では言いにくいことも日誌の中では、何も隠さず、話し合われます。スポーツを通じて結ばれた私達ならではのことです。

また我クラブの誇るべきことは、良い先輩に恵まれてゐることです。現在もOBの方

入るのを躊躇する人に

もしもドレミの音楽の世界や

ギターやカステネット

もしもバレットや赤や黄のえのぐや

日ぐれの画室のかたすみの絵や

さてはまた昔の風のままだに語られた

物語の舞台で演ぜられるのが

クラブに熱中する血をわかしただうに

より若い君達新人生を喜ばせるなら

それならよろしい直ぐ始め給え

もし勉強好きな青年たちが

昔の遊びを忘れてしまい、真青な空

や、そびえたつ山や、土とボールのか

つとやもはや欲しないなら、

それも亦よろしい、それなら、運

動場とクラブ長屋の住人どもと彼らの

創造物のあるすみかの中に仲間入りせ

んことを！(宝島より文体はいしやく)

I O K E

大学で歴史の先生が初期の探険家ル
ーフ・ルリブイニという人物を紹介し
て、この人はメイン州からフロリダに
至る北アメリカの海岸一帯の地図を初
めて作製した人だと説明した。

そしてスエーデンは彼の探険の成果
を生かすことはできなかったがルリブ
イエとその人は歴史家によつて世界の
地理学に多大の貢献をした重要人物と
認められていたと言った。教授が教室
を立去つて学生たちが膨大な講義の筆
記を整理し始めたところになつて初めて
学生の一人がルーフ・ルリブイエをさ
かさまでして読むとどうなるかという
ことに気づきくやしがること、くやし
がること。

(リーダーズダイジェスト)

鉄のカーテンの向こうの世界を題材
にしたユーモアの一つ。一年若い音
楽家が汽車でワルシヤワからモスクワ
へ旅行していたその男が汽車の座席で
楽譜を読んでいると同席の乗客一男は
秘密警察の一員がそれを解読しようと
しはじめた。しかし解読することが
できなかったたので、秘密警察員は楽譜
を秘密の暗号であると主張して音楽家
をスパイ行為のかどで逮捕した。
「ですが、これは何でもない、パツハ
のフーがなんです！……」と音楽
家は引かれてゆくみちみち反抗した。
あくる日、まだ無罪を主張したままで
音楽家は秘密警察長官の前に引き出され
た。長官は言った。「さあ君。いい加
減に白状したらどうだ。パツハはもう
白状したぞ。」

プロフィール

先生紹介

- (1) 生年月日
- (2) 身長
- (3) 体重
- (4) 出身地
- (5) 出身学校
- (6) 授業科目
- (7) 趣味
- (8) 好きな食物
- (9) 好きな女性(男性)のタイプ
- (10) 教育方針
- (11) 生活信条



岡田先生

などを先生方に聞いてみました。

- (1) 大正十二年五月三日
- (2) 百五十五cm
- (3) 五十kg
- (4) 大阪府
- (5) 大阪才一師範学校(現学芸大)
- (6) 保健体育



八倉先生

- (1) 昭和二年三月十三日
- (2) 百六十三cm
- (3) 四十九・五〜五十kg
- (4) 兵庫県
- (5) 大阪大学工学部
- (6) 化学
- (7) 遊ぶことすべて
- (8) あつさりしたもの
- (9) 妻をめぐらば才たけて、みめう
- (10) るわしく情けあり
- (11) 細い事は一際抜きでのんびりと
going my way

- (1) 大正十三年十一月二十八日
- (2) 百六十四cm
- (3) 六十kg
- (4) 大阪府
- (5) 東京大学
- (6) 動物
- (7) 洋楽、邦楽、演劇
- (8) 魚、コーヒー
- (9) わからない



浜田先生

- (7) 動物(小鳥・魚)映画
- (8) 肉類、ねぎ
- (9) 体が丈夫で人生の苦境に堪えぬい
- (10) た女性らしい家庭的な人
- (11) 自我を確立した有能な民主的社
- (10) 人の育成
- (11) 誠実、情熱

(5) (4) (3) (2) (1)
大正三年七月二十一日
百六十四 cm
五十六・五 kg
大阪府
東京大学



朝田先生

(6) (5) (4) (1)
大正十三年三月十九日
富山
大阪大学理学部
数学



彼谷先生

(11) (10) (9) (8)
すべて
明かるい健康な素直な性格
スパルタ的な教育を好む
まじめで明るく

(5) (4) (3) (2) (1)
昭和十三年五月八日
百八十 cm
七十五 kg
栃木県
東京教育大学



荒井先生

(11) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
昭和四年十月二十一日
百五十八 cm
五十二 kg
大阪府
広島高等師範
数学
眞実
guitar



香川先生

(11) (10) (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
昭和十二年十月三十一日
百七十八 cm
五十六 kg
福島県
東北大学
地学
旅行・レコード
何でも
静かでかっこいい人
簡単にわかりやすく現実にあつて
いること
根気強く楽しくなるよう努力



佐野先生

(7) (6)
国語
クラシック・オペラ・花づくり

(9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
大正十四年四月二十日
百六十七 cm
六十八 kg
広島県
広島文理大
英語
クラシック
果物
おしやべりでない人



平先生



鈴木先生

(9) (8) (7) (6)
体育
多すぎてわからない
中華料理
日本的

(11) (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
昭和十年一月十七日
百六十三 cm
五十八 kg
大阪府
大阪大学文学部
倫社
音楽を聞くこと
ラーメン
ポニーテール・小麦色・足の細い
人
理想に焦れて汝の手は休みぬ
休める手に理想は来たらず



広瀬先生



河井先生

(7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
大正十一年十一月十四日
百七十八 cm
八十 kg
堺市
東京高等師範学校
保健
スポーツ



綿谷先生

(11) (10) (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
昭和二年八月二十六日
約百六十三 cm
五十二 kg
石川県
東京大学
英語
野球
何でも
女性であればよい
好きなものになつてくれる様に
他人に迷惑をかけない

文藝作品



(7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)

大正十三年三月二十四日
百五十七cm
四十八kg
大阪府
東京女子高等師範(現お茶の水太
体育
読書・音楽をきくこと



山本先生

(11) (10) (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)

昭和十一年八月一日
百六十一cm
五十四kg
大阪府
大阪大学
国語
古本を買いこと
肉食
しとやかな人
楽しく勉強すること
無理をしない事

(1)

昭和十一年五月十九日



平口先生

(9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2)

一九三一年(西暦に限る)三月十日
百五十七・三cm
五十・三kg
茨城
大阪大学文学部
日本史
旅行(自分の商売に關した)
訳弁
大手前高女生徒

(1)

一九三一年(西暦に限る)三月十日



小松先生

(9) (8)

何でも(クジラをのぞく)
一つの事にうちこんでいる人

(11) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)

昭和四年七月三十日
百六十八cm
五十五kg
姫路
京都大学英文学
英語
映画・音楽・勝負ごと・テニス・
ビンボン
人生賭である



黒田先生

(9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2)

百六十一cm
六十kg
大阪府
大阪大学・英文学
英語
写真・スポーツ
何でも
可愛い人

文藝作

小さな
悲鳴に

岡 龍 二

銅 貨

眉 汎 露 雄

なけなしの財布の底をはたいて
充実した生活を
という青臭い銅貨をひねり出す。
それもウン

ウンのかたまりを
ぎゅつとばかり握りしめて
息を吹きかけたら
出て来たのが この青臭い銅貨。
これもウン

毎日

悪いことのつみかさねに耐えているおまえと
みごとに生きよおつて
やぶれかぶれに布切れを
つぎあわせているおれとが
おれのおれが このおれだ
と 泣きごとを並べあつてゐる。

ずううつと 首の向う側の世界に
なにか 発見すべきものがあるように
いつでもけんめいに首を折りまげて
わめきちらしの苦しみの中で
おれの存在を 認めさせようとする。

これはウンだ
こんなのはおれじやあない
これほ飯の姿だ。
いつも神様の戸籍調べを手伝っているのが
本当のおれだ。
と どれもこれも
みんなウンのウン
青くさい銅貨。

なにか

壁が

おまえのうしろにあつて
おまえはそれにひつたりおまえの背中をひつつけて
嘘ではない嘘をつく
おまえはおまえの背中に眼を閉じて
まるで

壁がおまえの背中に生えているような重みの
嘘ではない嘘をつく

例えば……

「口走るな

おまえは口走るな。

みんなが血走つたまなこでおまえを凝視する。
ああ、だから口走るな。

おまえが口走つたきこえないことばのために
女が急に悲しむ

友が突然傷つく

場合がしばしばある。

ああ、だから口走るな。

ある意味で

人間関係とは傷つけ合うことだ。

なぜつて

おれたちが繰り返すのは

誤解にもとづく誤解だけだから……

ああ、だから……

やがてそのうち

ちいさなひめいとともに

壁が崩れ落ち

おまえの背中は

遠い落日に晒され

おまえは

おまえが排泄した数々の嘘ではない嘘を背負つて
おろおろと歩きはじめる。



ある日の日記帳より

二年 一組 吉田 春陽

毎日々々を 精一ばい生き抜くんだ。

今日はこれでよしと本当に肯える日を

一日でも多く造る様に。

何となく今日も終つてしまつたとしか言えない

日を一日でも少なくする様に。

この青春の日々が、人生に於いて

いかに貴重な時期であるか

いかに輝かしい時期であるか

そして二度と再び戻つて来ない時期なんだ

と言う事をしつかり自覚して

毎日々々を 精一ばい生き抜くんだ。

今は過去の事を思い悩んでいる時ではない。

過去の事を思い悩むのが反省ではない。

反省とは、

未来を建設する為にすべきものなのだ。

希望と教訓をもつて前進する為にすべき

ものなのだ。

決して失望する為に、前進の意気を

くじく為にするんじゃない。

過ぎ去つた事は良い事でも悪いことでも

全て教訓として受け入れ、

明日への前進の糧とすべきだ

過去の事を思い悩む時間がある位なら、

未来の事を考えるのだ。

自分のこれから行く道の事を、

前進の事を。

俳句 三年十組 五十棲 祥二

卓上に琉璃の竜胆静かなり。

ガラス戸に青く歪みぬ蔦の壁。

蝶々のちこちと舞いて軽き風。

天心に滲むが如し朧月。

酷暑にてグラランドの烈光我を射る。

黒雲に飛込み月の窒息す。

喜々として小犬走り来夏の浜。

天の川流れの果に俗世あり。

女郎蜘蛛闇を見つめて誰を待つ。

蠅一つ刺げたペンキに夕逆光。

秋立つや玉露香し清き湯気。

夜深々花魁草にささやける。

静けさや闇を切り削ぐ流れ星。

× × ×

夏の日の遠き思ひやみぞれ降る。

ソネットニつ

「遠い昔から」

1 歴史の赤い結晶

遠い昔から伝えられた伝説のように

蓄積する疲労の重さ

折つてしまひそう僕の首を

均衡を忘れた火山のように

赤い毒素 うごめく 心臓へ侵入して

きつと それは

遠い昔から伝説のように伝えられた

時と太陽の交錯なのだろう

その交差点の電柱の上で

道に迷つたカラスのよな

そつと泣かせるやりきれないひとりぼっち

そんなのをいつもコーヒーに入れ飲むので

赤い毒素は 僕の体に充満し

疲労の重さにおしつぶされそうなんだ

2 道化が一人逃げてゆく

遠い昔から伝えられた伝説のように

道化の血は、流れている

はりめぐらされた陰謀の永遠の底で

夕暮れの月のように虚しく演技続ける

鏡の底で日常を支配する

野良犬のような映像

逃亡者の僕の道化の映像

僕は安心感にこげながら笑い続ける

墓標に降した永遠のたれ幕に

舞台なくした道化の

涙は刻み込まれる

どうぞ神さま

真実からお守り下さい

遠い昔から伝えられた伝説の奥に――

ノート「無名編」より

薄田澄子

果しない旅路を
与えられることの無い
理想を求めて
私はさまよう。

ある眩き――。

「生」の後には美しい死が――
みにくい苦しい「生」には
Good-bye しよう
後には美しく甘う「死」が待っている。

若い私は
意識のかたまり
そのほぐれることを知らぬかたまりは、
美しく、甘いものへの焦慮と化す。

苦しく、みにくい「生」はまた美しい、
その美しさを発見した魂は躍る。

苦しい、美しい「生」を賛美しよう
我等の特権、「若さ」の中で。

そしてまた
永遠の旅路――。

斜塔 岡 龍 二

斜塔に風が吹く
無政府からの
或いは
女の細い背中からの
風が
吹くと
斜塔の内部
まるで
ネガフィルムの世界に
廻転が止らず
いままでの
転倒とか倒錯とか錯誤とか
そんなものが
全ての領域に廻転をつづけ始め
彼は

無題

S 記

新しい生命の
新鮮な喜びは
すべての涙をぬぐい
―― 貴方の青い涙をも――
快き、熱風を吹き込んでくれる。

「死」は終りではない
はじまりなのだ

道化は死した後、
はじめて、その幸福を見出す
「死」は美しいはじまりなのだ。

「生命」と美しい「死」と
並んでおかれたら
貴方はどちらをとられるか。

「死」を選ばれる貴方なら
その美しい魂のみの世界を
私は祝福してさしあげよう

忌しい物語を憶い起す……

女の娘の笑い声とともに
屈辱が抜け落ち
街へ、ネオンサインが小ささみに震える街へ
紛れ込んでいつてしまったこと……
自分が飲みこまれた屈辱を、それと同量の憤りとし
て産み出す痛みに耐えるかわりに、おまえは
自ら傾いた！
斜塔に風が吹き
斜塔は風に泣きはじめる。

「生命」をとる方よ
貴方はその試練に
耐えることを学ばねばならない
「生命」は喜びであると同時に
苦しみでもあることを
貴方は知る必要がある
私は貴方に
その試練に耐え得る勇気を
願つてあげよう。

一九六六・一・二六・S記

おまえの顔は、どこにあるんや。
 おまえは、ちよつとかわつてゐるな。
 おまえには、外側がないのところがうか。
 おまえこそばいことないか。
 ふあん。ふあん。あんあん。あん。
 わあ。わあ。あわあうあ。
 こそばいやる。
 ぼくやつたら、ふき出してしまふなあ。
 あないにやられたら。
 そやけど、
 おまえで、おかしいな。
 おまえには、うらしかないなあ。
 おまえのおもては、山ではないやろ。
 ほんとにおかしいなあ。



貝になつて

暗谷 巡

彼は、貝になりたかつた。ある日彼は、海へ泳ぎに行つた。彼は、心の中で、泳いでいるうちに、貝になつたらと思ひながら、沖へ沖へと泳いで行つた。海岸からは、だいぶはなれたらしく、海岸の人々は、ありのように見えていた。突然、彼に、大きなタコがおそいかかつて来た。危い！と、体をちぢめた瞬間、目の前が、まづ暗になつた。そして、ビヨロンボンビヨン、ビヨロンボンビヨンという何とも言えない不気味な物音が彼の耳に入つた。しばらくその音は、聞こえていたが、そのうちにだんだんと小さくなつて、しまいに、聞こえなくなつた。そのかわりに、ゼレゼレ・ゼレゼレと、何かがすれ合う音が聞こえてきた。その音がだんだん近づいて来た時、突然、彼は、背中に衝激を感じた。少し痛みを感じたので手を後にまわそうとしたとたん、彼の目には、心をふるわせるような青が、とび込んで来た。彼は目をこすつてみたが、目に入るものはただその青であつた。ふと彼の頭にこういふ考えが浮んだ。「もしかすると、ぼくは、海底にいるんじゃないかしら。あのタコにおそわれた時にとつさに海へもぐつたんだな。」

それにしても息がよくつづくなあ。」
 息がつづくはずである。その時、彼は、貝になつてしまつていたのだ。彼は、もう一度あたりを見まわした。よく見ると青の中に、ゆらゆらゆれ動くものがある。そして、上を見ると、太陽が、波で、丸くなつたりだいたい円になつたりしながら、黄く光つていた。ゼレゼレ・ゼレゼレ、あの音は、海そうが、すれ合う音だつたんだ。ビヨロンボンビヨン、あの音は、波の音だつたんだ。彼は、もう貝になつてしまつた。そう思うと、彼は、なんだか、楽しくて……ジャレジャレジャレと奇妙な音を出しながら、いわしが、走つて行く。反対側には、美しい色彩の見たこともない魚が白ぶえを吹きながら泳いでいる。菊の花のような、インギンチャク。ヒトデやウニ。想像もつかない美しい世界が彼の目の前に開らけた。

二

貝になつた。というよろこび。海の世界の珍らしさも、時間が消し去つて行つた。海底の生活は、そんなに楽しいものではなかつた。なんの変化もない単調な生活だつた。ビヨロンボンビヨン・ゼレゼレ、そんな音だけが彼の耳に入つてくるだけだつた。昼間はまだました。夜になれば、星一つ見えないし、月夜でさえ、月の光は、海の青黒い暗幕にさえぎられて届かない。全くの暗やみである。初め、世界のわずらわしさから離れて、こんなにすばらしいこと

はないと思つていた彼だが、そんな日々が続くにつれて、だんだんと、海底の生活にいや気がさして来て、知らないうちに、貝になつてしまつたことに、自分にはどうしようも出来ないのだが、どうして、こんなことになつたのかというような、あきらめを含んだ絶望が、彼の胸をうずめはじめたのだつた。

「どうして、こんな貝になつてしまつたんだ。だれか教えてくれよ！ おい。どうすればいいんだ。ぼくは！」

「ぼくは、人間にもどりたいよ。みんながぼくを悪く言つている人間世界へもどりたいよ。魚よ！ ぼくのことをなんとか言つてくれよ。悪口でもいい。なんとか言つてくれよ。ぼくに話しをしてくれ！」彼は大声で叫んだ。しかし、答えるものは、何もない。ただビヨロンボンビヨン、ビヨロンボンビヨン、と波の音だけが、彼の不安を、いつそう大きくしただけだつた。彼は、もう自分の心をうちあげ、そして又、自分に話しをしてくれる友だちを失つてしまつただけではない。自分のまわりに、いつも存在する他人でさえ、失つたのだ。彼は、ただ一人、海に生活しているのだ。もはや彼は、自分の存在を証明してくれる他人を失つた以上、彼は、もうその存在を、自分でもわからなくなつていた。もう彼と言う人間は、どこにも存在しないのだ。なぜなら、彼の存在を証明する何ものもないからだから。

俊左衛門の考えること

二年 安達 俊雄

湯殿の湯につかつて安藤俊左衛門は

剣に疲れたその体を休め乍ら、静かに冥想の世界を慢歩した。湯からのぼる湯気の如くに様々な思索が彼の頭にのぼつては消え又湧き出でて彼は、しばし満足の湯にひたつていた。湯殿の中は湯気で満たされ、ひのき板の天井からは凝結した露が落ちて、彼の顔を濡らすのは気持ちよかつた。風呂の壁がまわるや、彼は湯から上つて筆を取り、何やら書きものを始めたらしい。……一筆啓上、読者拙文を読まれることを請ふ云云……彼の頭からは、まだ湯気がたちのぼつていたのである。ここに彼の記した事を要約し、改めてこの拙文を読まれることを請う。

——神と宇宙について——

湯殿の湯気にのぼせて、俊左衛門は神と宇宙について楽しい推理のあそび

る。

この結論に達するまでのいくつかの仮定、たとえば「無から有は生じない」などの判断の正しさを否定しないなら「神は宇宙である」が誤つてゐる根拠はどこにもない。だから「神の肉体」というこれまでの考察の範囲内において「神は宇宙である——宇宙は神の肉体である」は確かに真理と言わねばならない。そしてこの宇宙を知り、その存在の発生について知るとは即ち神の肉体を把握することであり、それは、あたかも我々が我々の身体を自由に「精神との統一物」として動かすように、我々があたかも、神の如く、その神の肉体（宇宙）を動かすことである。その時こそ、我々はある平面において、神になつた時である。そしてこの偉大な進化の手段となり原動力となつて、

に献身できるような、絶対的な理想というものが必ずあると信じてゐる。だからもしかりに、そのような絶対的なものがなかつたら、僕にのこるのは虚無感と敗北感だけだろうと思う。このように僕は理想主義に傾く人間であり、

「理想」という言葉を「神」という言葉にかえるのが好きだ。又「神」という言葉を「理想」という意味に解するのすきだ。だから僕にとつて「神」と「理想」とは完全に周延する二つの概念であり、同義語である。——さて、このような僕自身の意味においてアウグスティヌスのこの言葉は、あながち、反古としてしまふような値のない言葉ではなさそうである。それどころか、もつとも価値ある言葉に思える。では、この言葉がめざしてゐる「神の国」が実現されるには何が必要だろうか。まづ、この地球が決して今、神の国ではないから、「発展」が必要だ。発展は「神の国への道程」である。そして、人類が発展していくには、まづ確乎と

をやつた。以下はその事を記す。

神様に姿があるだろうか。もし、この宇宙を作つたもうた神様が空間の一部を占有されるのなら、あるいは姿ある神が、この宇宙空間をつくりたもうたのなら、その神の占有される空間も又宇宙の一部なのであるから、神は無限個在らねばならないはずである。

それで神が一人あるいは有限個しかなかつたら、宇宙の存在を「神」というものを使つて証明することはできない。

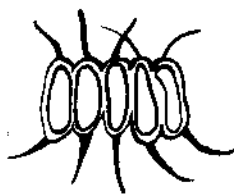
「これから導びかれるのは「神は拡がり」という点においては無であるか、又は無限に充実した存在であるかのどちらかだ。」という結論である。もし、この一方をとつて「神は拡がりを持たない」としたら、これも又「宇宙の存在」を証明することはできない。無から有が生まれないのが建て前だからである。——だから最後に導びかれるのは「神は無限に充実した存在だ」ということになる。これは換言すると、「神は宇宙だ」という命題にかわるのであ

神の国への発展の役割の半分をうけもつのは即ち科学であると確信するのである。（現により広い宇宙空間の把握を求めて発展してゐるのは科学である）（我々が神の国を実現するとき、そのときは、 ∞ 倍の望遠鏡と ∞ 倍のマイクروسコープの発明された時である。）

——神の国への指向——

アウグスティヌスの言葉に「神よ、あなたは人間をあなたに向けて造り給うた」というのがある。そして、その後、人間は、その神の国に入るまで安らぎを得ることは出来ない、と言つてゐる。この言葉の中の「あなたに向けて」を「神の国に向けて」としても、当然よからうと思う。そして、その「神の国」を「我々の社会の理想の姿」と言いかえてもよい。僕は「神」という言葉をやら神祕的に考えるのは、きらいだ。一般に言う「神」がそのようなものなら僕は、そのような「神」は信じない。そして、僕は、自分の人生をそれに向わせ、それを信じ、それ

した手段が必要だ。その手段には何が一番よいかと言へば、——神と宇宙について——の中で話したように、平面においてやはり今ある「科学」だと思ふ。そして他の平面において必要なのは、発展の推進者である人間の主体性を持つた人間としての姿勢の追求、つまり



人間性の追求でありヒューマニティの追求だと思ふのである。そして最後に、この発展の心理的要素として必要なのは、「競争意欲」だろうと思う。——さて、社会の中にあつて、「競争心」という性質を持ち、科学を発展のための手段としてゐる今の社会が、ある意

味で行きつまり、苦悩しているのは、何に起源するのだろうか。近代の科学は、その発展初期のルネサンスの時代においても、ヒューマニズムと相入れないものがあつたし、又、今日ではそのことが一層深刻になつてきている。「核戦争」などというのは、その最も象徴的なことだと思う。人間の造つた科学が、その発展が、その人間自身の存在に対してまで、矛盾したものよりである。科学が産業に及んで、工場が機械化され、コンベアシステムがとり入れられて、人間は、次から次へと出てくる半製品に手を加わえるのにあつてふためいている。そこで追求されるのは機械のような正確さであつて、決して人間性ではない。又造られるものは、人間の生活を向上させるはずのものであるのに、それを生産する工場からは、人間に有害な煤煙が多量に放出される。(製薬工場から亜硫酸ガスが出た出た病氣になつたでは歌にもならないだろう)アメリカでは、この公

硫酸ガス」が最も多く吐き出されている。大手前高校の東区では、毎年、一平方キロメートルに十五トンの黒い雨(ばいじん)がふりそそぎ、大正区などでは百トンに近い降下である。しかも年々増加の一端をたどつていっている。見よ、青い空などと歌つていられないのが、この公害問題なのである。又、公害に限つたことではない。科学の発展が、少なくとも、そう思われていることが、人間社会に深刻な問題を投影しているのが事実なのだ。しかし、その事実を根拠に、科学の発展が、ヒューマニズムと全く矛盾しているとは言えない。近代科学の一分科としての近代医学が、人類に与えた利益が、いかに大きなものであつたか、という一例をあげれば、それを証明するのに充分だろう。僕は信じる。科学そのものは正しかつたのだと。現代の社会を現状のようにしたのは、ヒューマニズム自身が、科学の発展に対処できるほど、発展しなかつたからではないのか、と

をたくわえていくことが必要だと思ふ。今後、急速に発展する科学は、この複雑な社会に、するどい切れ味のメスを入れて、解剖し、今の絶対矛盾も科学自身の手によつて解消されるかもしれない。だが、社会は恐ろしく複雑な方程式で動いているから、そうなるには相当の時間が必要だろう。しかし、何十年、何百年後には、一萬、二萬という社会的な統計値が分かれば、今年の適性予算は〇〇兆〇〇億と理論的に、はじきだされ、その予算で国政が行なわれるなら、資本主義に付きものとされていた不景気や恐慌さえ、まぬがれることができる日が、きつと来るだろう。鉄器や鉄砲が、過去の社会を大きく変革させたように、今後の社会は、コンピュータによつて大きく前進するだろう。しかし、その前進が、神の国へのそれか、否かは、我々の社会のヒューマニティーの追求如何にかかつていふところである。(終り)

害を一掃するには年間三十億ドル(約一兆円)の支出が必要であるという。又、その大気汚染の犯人は、工場よりもむしろ自動車の排気ガスであるらしい。自動車の排気ガスの大部分は、一酸化炭素。工場の煙突からは、SO₂(亜

サインも無く見わけもつかぬ星の肖像画

佐々木 幹郎

「星」には、とりで、小さな城、さかなさま、山のさま、つながら、等の意味がこめられている。――

星は男だ。けれど、その星という奇妙な名前のために時折女とまちがえられる。

「ルイつてなんだか女みたいな名だな。フランスにルイ王朝があつたけど、君、本当に日本人かい?」

星は、たびたび初対面の人にはこのようにことを言われた。

「僕は日本人です。星には小さな城つていう意味があるんですよ。世界一いい名でしょう。」

星はそのたびにこう答えた。そして謝の念が起るのだ。

「小さな城」すばらしいじゃないか

星には友情が信じられない。そもそも、人間が信じられない。ましてや愛なんて、妥協の賜物だと思つてゐる。

以前、クラスの討論会でこのことを言つたら、クラス全員からの総攻撃を

うけた。そしてその反撃の勢いに驚いて、彼は一人で自嘲した。

「なんだ! 僕こそ自分自身がわからないくせに。」

人間は、自分自身すら正確にはわからない。ましてや、不確実を身上とする言語を媒介としての人間通しの友情なんて、あるはずがないじゃないか。

星はいつもこう思つてゐる。人間だもの!

その当時の星の日記には、こんな言葉が見られた。

「群衆の中の孤独! ああ、こんな気分にはすっかり卒業してしまつたはずなのに。」

人間が信じられなくて、友情の存在を否定して、愛情なんて否定して……なに!

「愛」を否定するつて? バカ。理屈をとねまわしてはいけないよ。現に、おまえが愛を望んでいるじゃないか。よおつく自分を見直すんだな。理論の先走りはいけない。」

墨のこの混沌とした状態に終止符を打った人物がいた。

「Mの出現！ いちど話をしてみた。」

墨はこう書いてから、ギョツとした。男女間の愛情なんて妥協の賜物だ、とくさしていた者自身が、その愛を望むなんて、それも、言葉を交換したい、だなんて！

墨は自尊心が強すぎるから、決してMの方を見ない。無視し続けている。実を言えば、その機会があつたのだが、話をすることがない。この調子だと、ずつと話をしないままに別れ、別れになつてしまふかもしれない。だけど墨はそれでもいいと思つてゐる。

「どうせ彼女も、僕を本当に理解してはくれないだろう。妥協と、三文小説のまねごとだけはごめんだ。」

墨は日記にこう書いてから、Mという彼女の名を呼んで、「話をしてみたいな。」と矛盾した考えをするのだ。墨自身も、自分の心がわからない。

犯しそうになるところだ。日記を、なる自慰的行為におわるようなことにはすまい、とあれほど誓つたのに……

又、以前の日記のような誇大表現による自分自身の喪失を恐れたのだ。

「日記は手記になつてはいけない。手記を休息の場とし、そこで作文をすることによつて自分の心を一時的に慰めるような少女趣味にはあきあきした。単なる自慰的行為におわる日記なら書かずにおこう。」

墨が七冊目の日記の冒頭に書いたこれらの言葉は、二年間、日記をつけた後に得られたたつた一つの収穫だつた。そして、その収穫の故に、墨は過去の六冊に及ぶ日記を、ガソリンをぶつけて焼いてしまつたのだ。

墨はしばらくボンヤリと蛍光灯の音

彼の死体は、警察の手で名目上、「逮捕する時の格闘の為」に死んだとされて自宅に戻つてきた。その時の小林の死因を、この本は生々しく描写していた。

下腹部から太股に至るまでの身体は、肉親ですら思わず「うわつ」と顔をそむけてしまつたほど、べにがらと墨とを混ぜあわせたような色にそまつていた。おそらく竹刀で滅多打ちされたための内出血であろう。太股のあたりでは、よほど強烈だつたらしく、肉が割れてしまつていた。そして観察者の目は、みにくく腫れあがつた小林の顔から、歯に至るまでのひどい暴行のあとを述べ、最後に彼の人差し指について述べていた。

私が驚いたのは、彼の人差し指だつた。おそらく、世界中のどんな人でもこんなになで指をまげられたことはないであろう。手の甲の上に人差し指がびつたりと重なりあうのだ。指を力まかせにねじあ



彼は、ものごとを何もかも純粹に考えすぎる。確かに、人間の間で友情なんて生まれない。しかし、双方で誤解しあいながら、その誤解している相手を許すのが友情なのだと思ふべきだ。純粹に考えたら、友情も愛情も成立しない。そして、このことは正しいのだ。

友は誰もいない。この世界には自分一人だ。おそらくこれからもそうだろう。

墨が日記にこう書いて絶望したのは、もうだいたい前の話だ。最近の彼の日記をのぞいて、彼のデッサンを進めよう。

「もはや追従はやめねばならぬ。一日一日が僕の手で握りしめられねばならないのだ。僕は僕の可能性に信頼をおこう。そして、それにしか頼るものはないのだ。」

墨はそこでペンを置いて、ジ・ツと静かな音をたてている蛍光灯の白い光に目をやつた。

あぶない。もう少しで過去の過ちを

「こばやし・たきじのゆび。」とつぶやいた。

墨の頭の中には、この日学校の帰りに古本屋で手にした、「日本の革命家達」と題する本の一頁が生々しくよみがえつていたので。それは、プロレタリアート作家、小林多喜二が、街頭で共産党からの連絡をうけている時

警官につかまり、拷問にかけられてなぐり殺された事件をあつかつたものだった。

小林は、白昼二十分間、その警官から逃げるため町から町へ逃げまくり、あげくのはては格闘の末遂につかまり留置所へ入れられた。

そして、警官による猛烈な拷問のためその短かい生涯を絶つたのだつた。

げるたび重なる拷問のために、小林の指は完全に骨折していたのだ。墨はこれまでの描写を思い返して、おもわず両手を握りしめた。目は自然と右手の人差し指にいつた。

手の甲につく程ねじあげられた指。

墨は自分の人差し指をねじあげてみた。彼の骨ばつた細い指は、小林のされたという角度の三分の一程のところ、いボキボキという音と共に停止して、いらするような痛みを体中にまき起した。

墨は手を握りしめて、もう一度蛍光灯をにらんだ。

それから、ゆつくりペンをとり上げ倒！と書いて日記帳を閉じた。時計が一時を打つた。

墨は時折、授業中に、こんな授業を受けている僕は一体どんな人物になる

だろう？」と思う。それがきまつて授業中なのだ。

墨はマルクスを一番尊敬している。あの負けず嫌いで我が強いところなど墨にそっくりだ。ところが、同じ面でも又、太宰治も尊敬している。多分、この両者のとりあわせを不思議に思う人も多いであろう。自己肯定力の旺盛なマルクスと、自己の存在に罪を感じている太宰と。だけど、この二つの面ともを、墨は持つてゐるのだ。

マルクスが一番嫌いなもの、として「卑屈」をあげた時、墨はこおどろいて喜んだ。そして、太宰が自身を「道化者」として「彼は人を喜ばせるのが、何よりも好きであつた。」と言う時、墨は身につまされる思いをしたものだった。

「僕は一体どんな人物になるのだろうか？」

それは墨にとつては、かた時も離れない疑問だ。時々、「ネチャイエフ」を思い浮かべる。確かに、ネチャイエフ

墨はどきりとした。まさしくKの言う通りだ。Kが手持ちぶさたで、割りばしをボキボキと折り続けているのを見ながら、墨はボンヤリとしていた。墨にはまだはつきりとはKの言つたことがわからなかつた。ただ、Kが折り続けたので、今では短かくなつてしまつた割りばしの数を数えながら、自身の考え方もこのようにこま切れな

墨が、Kの言葉を明確に把握できるようになつたのは、それから一ヶ月後の日韓条約阻止闘争の最中であつた。やむにやまれぬ思いで、デモに参加しながら、「日本帝国主義打倒！」「日帝の海外侵略反対」と叫んでいる時、ふと頭の上を見上げたら、もうすつかり暗くなつてしまつた街頭に、赤、白、黄のネオンがまばゆいばかりにかがやいていた。そのケムシのようなネオンの点滅を見ながら、何故か急に「冬だなあ」と思つた。プラタナスの葉が音をたてている。風の音さえ耳に響く。

それだけで充分なんだ。……冬が近づいている。何もかも固まつてしまふ冬が。

「この門を開け。」確かヴァリレイの詩の一節だと思ふ。なんと透明な言葉ではないか。

詩人が野原のまん中で、風に着物をなびかせながら叫ぶ。「この門を開け。」

墨が門を開けるために、最初に握つた把手は、「小林多喜二の指」であつた。そして、その時から、彼は国家権力を打倒しようと思つた。何々の為に何々をする、というような考えを否定している墨にとつて、どんな人物になるだろう？ の疑問は愚問に等しい。おそらく、友人のK以上の答は誰もできないだろう。

墨は革命家の道を歩むかもしれないし、芸術家になるかもしれないし、純粹の学者になるかもしれない。しかし、いずれにしても、何々の為という目的意識を排斥している以上、自然に、な

フの行動には一点の矛盾もない。今の墨の気持しだいでは、ネチャエヴィズムに落ち込む危険性は充分にある。

学校の食堂で、Kと話をしていた時、墨はふと思いついて、

「僕は一体どんな人物になると思う？」と聞いたことがある。その時、Kは割りばしを折りながら、静かにこう言つた。

「どうなるかつて？ そんなこと僕にはわからない。君自身にもわからないだろうし、世の中の人誰でもわからないだろう。ここに一人の人間がいる、百年後はどうなりますか？ もちろん死んでいるよ。こんな答ならできる。だけど、死ぬまでずっと変化し続ける人間の考え方や、人となりなんて予測することはできないんだ。僕が言えるのは、現に今僕がやつてゐることに責任をもつ、それだけなんだ。賢明な奴がこんな質問をうけたら、こう答えるだろうな。『多分、君は十年後も同様の質問をするだろう。一つてね。』」

まさか！ 大声で「日韓」「粉砕」と叫んでいる墨の耳にそんなもの聞こえるはずが……しかし、実際に聞こえたのだ。

機動隊と接触している時、その興奮のつぼみの中でKの声が聞こえた。「僕が責任もてるのは、今現に僕がやつてゐることだけだ。」

墨はその夜、日記に次のようなことを書いた。

「なる程、Kの言う通りだつた。一年程前の僕に比べたら、デモに参加するなんて思いもつかぬことだ。友人達と肩を並べて、ああ、インターナショナル我らがもの」と歌つたり、「我が行手を守れ。学生の歌声に、若き友ら手のをべよ」と歌つている時、僕の体

の中のドロドロしたマグマが、青白い炎を出して流れ出すのはつきりと感じた。そして、僕はその事に責任をもつてゐるし、将来どのような事態が起ころうと、今日のことを基礎としてそれに対処するという気概を持つてゐる。

らざるを得ない方面にしか足を踏み入れないだろう。現に彼が今、マルクス主義者であるというのも、多くの自称マルクス主義者達の欺瞞に満ちた態度と好対称に、そうならざるを得ずしてなつたのであつて、決してマルクス主義者になろうと思つてなつたのではないのだから。

結局、墨の肖像画は未完成だ。フェキサチーフも必要ないし、サインも必要ないだろう。墨自身、これからずっと変化し続けるであろうから。一時的な姿の凝固は、かえつて墨に迷惑である。

墨はあと一年位して、この自分の肖像画を見たら、言うかも知れぬ。

「サインもないし、もうすでに見分けてもつかなくなつてゐる。一体誰の肖像画なんだろう？」

『飛び去った未来』

眉 汎 露 雄

おしまいが肝心だ
と 辞書で確かめる
いつもこれなんだ！ ぼくは、

毎朝

うすくらがりの中で

ひよつとしたら！

と 期待して目をさます。

まだ 生きている

……今日まで……まだ。

なぜ？……

考えるのに疲れてから顔を洗いに立ち上り

歩がんだ顔と

かわいた歯みがき粉の中で

ぼくはまだ生きているという

からからの無味無臭を感じるのだ。

こうなれば

見上げる空にも灰が降るといいうわけだ

にんげんの枯木のトルソー

またぼくのさびしい一日がはじまる。

いつものように

飾りウインドオの向うを覗き

もう来ているかな？ とつぶやく

パアドのような まつ白い

目標物を横目で見つけて

一度も振り返つてもくれないのを

確かめてから

ぼくは安心して

煙ばかりのストオブにあたるのだ。

一人ぼつちということば

べつに昔にはならないのだが

なぜか いつもにんげんが恋しい。

もう死んでもいい

と思つているのに

いつまでも生きているということに

いやになつているのに

にんげんと話をしたいと思うのだ。

そんな欲求が満たされないうちに

ぼくは 与えられた時間割で

毎日のごとくノオトを作り

時間がくるとオオバアをかぶつて帰るのだ。

歩いている時でも

ノオトを作つている時でも

便所にいる時でも

いつでも 誰かに

心臓をつかまれているように

ぎよつとして後ろを振り向く。

何かが迫っている

と 刻々に体で感じとるのだ。

相手は そんなにも近くに来ている。

それなのに逃げることもできずに

わめいて うめくだけで

まだ壁の中にいる自分を

あわれむことだけに

ぼくの生命を費やしているというわけだ。

どうしようもない。

ぼつんと そうつぶやいてから

死にたいと思うのだ。

ひよつとしたら今日死ぬるかもしれない

期待で胸をふくらまして

毎日家へ急いで帰り

いつもの朝方のうすくらがりの中で

自分の心臓の音を聞いて

なぜ？ と絶望するのだが

ひよつとすると今日こそは

と 又思い直すのだ。

死ぬ時はおしまいが肝心だ

ぼくはそう思つて

いつでも辞書で確かめている。

しましう程であつたのだ。私は救われようとし、気が進まないままにも、本を読み、映画や音楽を求めてはみた。けれども、どんな思想も、どんな行動も、その暗黒の前には、へなへなと力を無くしてゆくのを、その時ごとに確信してゆくにすぎなかつたのだ。そして、相変らず紙芝居は続けられて行つた。以前には多少持つていた、自分自身への自信や期待すらも、今はもう、伽話の様に思ひ出されるだけであつた。そんな私が死を選ばなかつたのは、ただ、私の持ちこたえた唯一の執念——それこそ死への執念以外の何物でもなかつたのだ。最後には死ねるのだという観念——私は自殺という行為に自信を持つていた——は、決して生きる欲望とは、つながりはしなかつたけれども、この生という空白を投げ出すことから救つてはいた。ある日、私はナイフで自分の腕を切つたことがあつた。ぼたぼたと流れ落ちる血液を見つめながら、私は自分の「生物」を思つた。私の苦しみ、私の観念に何の関係もなく、体内で蠕動をうづけている胃や腸を、不潔感とも言える嫌悪でもつて考へていた。自分自身を解剖し、その組織を見、細胞を見ていた。

一体、何の意味を持つというのか！

どうしようもなかつた。何をすることも出来ぬ。それは、人間嫌悪とか、人生絶望とかいう種のものであつたなら、まだしも答は与えられたことであろう。私には絶望や嫌悪

すら出来はしなかつた。なぜなら、何の希望も信頼も、全てその形象を失つてしまつていたからだ。突きあたり、うちのめされ、やがて私は、生物としての限界に疲れ切つていつた……。

冬には珍しく暖かつたこの京の一日を、なんとなく身体に残つてゐる、あの澄切つたかわらげの印象と共に、そつと、そつと大切にしておきたかつた。再び私を囚えようとしてゐるあの暗黒から、今日ぐらゐは自由でありたかつた。「飲みに行く」椅子から立上り、私は誘つた。最も手取り早い方法は、考える前に生きてしまふ事だという知恵を、私は近頃知りつつあつたのだ。

しばらく歩いていく内に、さすがに冷切つた冬の空気は、徐々に私の臂を取去つてくれる。賀茂川を通りすぎる冷たい風は、氣持よく頬にあたり、胸の嘔吐感を和けてくれる。アルコールの苦しさと共に、自分の心までもが、冬の風に冷されていくのを感じてゐた。川原を行く人もなく、ただ流れの音だけが、大きく、反響しながら、私の世界を埋めてゐる。

私は、今、一つのかわらげとなつて、大きな曲線を描き

ながら、宙を飛んでいるかようであつた。

突然私は、はつきりと、進んで行くのを感じた。

「あつ、小さいやな星が見えた」 私は叫んだ。

「小さいやな星？」

「うん。小さいやな小さいやな星や。けど……光らへん、ちつとも光つてへん。けど、私には見える。ちつとも

光らへん星。けど見えるんや。見えるんや。

私の星や。私の星が見えるんや。」

友は、私の顔を見て笑つた。……そして深くうなづいた。

「真暗の中に星が見えた。見えた。」

涙があふれるのを、どうしようもなかつた。今日ぐらゐ今日ぐらゐは、泣く事が許されてもいいと思つた。思ひつきり泣きたかつた人間として泣きたかつた。

友はわかつていてくれた。

「私の星、私の星」私は泣きながら叫んでいた。星があつたのだ！ この暗黒に。

私にはわかつてゐる。これから、これからも苦しみつづけるであらうことが。しかし、しかし私は星を見つけたのだ。私は、今、ここに在る。という事を、初めて、たとえそれが一瞬であらうとも、受入れたのだ。何の意味もなく、何の理由もありはしない。ただ、感じたのだ。自分が今歩いてゐることを。頼りつ風を。生命を。それらの意味や価値なぞ、今はもうどうでも良かつた。

ただ、この一瞬を、私の全身が肯定してゐた。生きてゐることを受入れてゐた。全身が感じてゐた。

終り

走 る

岡 龍 二

かれ

は走る。

いやが上にも

全ての体重を賭けて走る。

そのとき、

彼の△重み▽は彼に属さない。

走り出したが最後

彼の△重み▽は彼の意志を振り切つて加速度を増すばかり。

△重み▽だけが突進してゐるのだ。

彼はひたすら走る。

それは

ある意味でかなりの不幸である意味で

葬り去られた悲哀だ。

— ああ

おれはどこへ走つてゆくのだ……

彼の宇宙は

ひっくり返り

みじんに砕け

再び廻転し……

そんなことが繰り返され続け、

やがて彼は吐く

「全てが可能で、不可能だ！」

かれ

は走る。

決して振りかえらず

決して振りかえらず！
ああ

そのとき彼の疾走は闇に墮ちる。

彼は背中へのしかる灰空の存在を忘れた！

彼がそんなにも懸命に

そんなにも一途に

走ることば

ある意味ですこし美しく……

だが

それは

幻想の忘却だけが闇の中を逃走し、

△重み▽だけが灰空の下で暴走し、苦悶する

ことでしかない

そのときは

ただ悲しみの

大地だけが傾きを深める。



編集後記

もう何もう事はない。要するに、完成したのだから。

思うに去年と比べ今年は幸運であった。一つは記事がスイスイと集まったこと。感謝します。

二つ。編集委員の方々、そしてアンケート整理を手伝つて下さ

った方々が熱心に自分達の時間をさいて手伝つて下さった事。感謝します。そしてまたアンケートに協力をいただいた各校の熱意。すべてが幸運だったと言

つても言いすぎではないと思います。なお今回のアンケートの集計には大変苦労しましたが、

来年は最初から文化委員全員でおののクラスの分を集計するよりすると思います。

(三年生の分は一、二年生で分

稿の作成には十分の時間をかけることがぞまれます。

卒業される三年生の方々。こ

のスプリングを読んでもう一度

大手前を思い出して下さい。

新一年生の諸君。これを読んで

少しでも早く大手前というもの

を知つて下さい。それが編集委

員の望みなんです。

創刊号にこうあります。

「この雑誌スプリングがその名

のより大手前生と共に「春

のように生々とした「泉」のご

とく新鮮で「躍動」のように力

強いものとなることを願う。」

そしてこれが編集委員の言葉で

す。

「スプリング、ばんざああい」

「ああ、しんどかつた」

「シエー」

「ピロンピロンにブラブラブラ」

スプリング 才六号

昭和四十一年二月二十日 印刷

昭和四十一年二月二十四日 発行

非 売 品

編集者 田中善章・嵯峨裕美子

発行者 大手前高校自治会文化部

発行責任者 自治会顧問 小松素彦

印刷所 大阪市旭区大宮町一ノ五二

原 多 成 文 社

電話 (九五一) 七六六〇

大阪府立大手前高校自治会

大阪市東区大手前二

発行所

